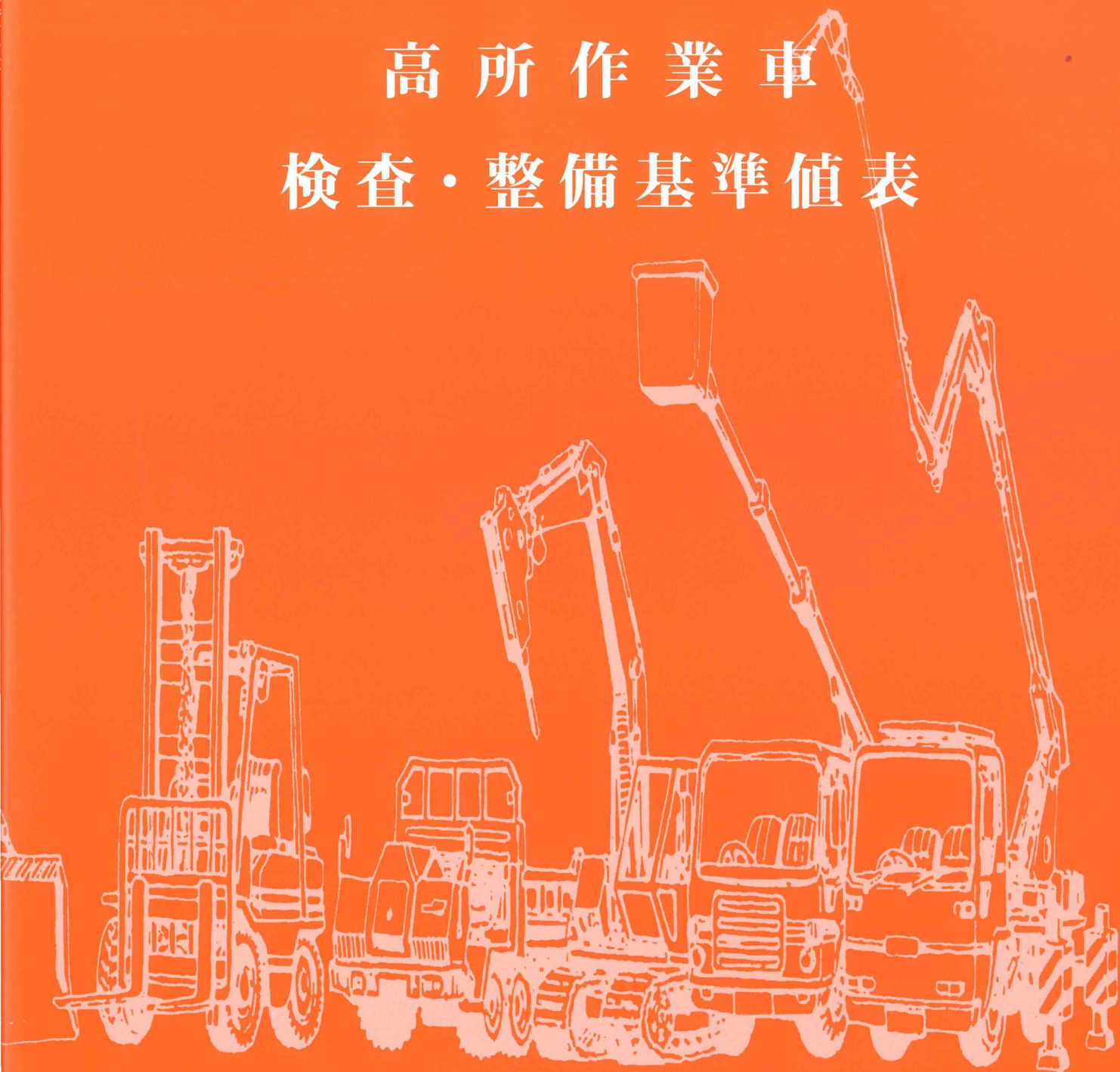


高所作業車 検査・整備基準値表



公益
社団法人

建設荷役車両安全技術協会

ま え が き

建設荷役車両による労働災害を防止するため、昭和 52 年に特定自主検査制度が導入されました。

その後、平成 2 年 9 月に労働安全衛生法施行令及び関係法令が改正され、特定自主検査の対象として解体用機械であるブレーカ、コンクリートポンプ車、不整地運搬車及び高所作業車の 4 種類の機械が追加されました。

さらに、平成 25 年 4 月に労働安全衛生規則が改正され、特自検の対象となる解体用機械として、ブレーカに加え、鉄骨切断機、コンクリート圧砕機及び解体用つかみ機の 3 種類が新たに追加され、同年 7 月から施行されました。

これらの機械について、常に安全な状態に維持する為には、適正な定期自主検査と整備作業がなされなければなりません。

その為には、チェック結果の良否の判断、及び整備作業の基となる基準が常に利用できる状態にあることが大切です。

建荷協は、高所作業車の検査・整備基準を広く開示するために、「高所作業車検査・整備基準値表」を作成しました。

前回の改訂から 5 年が経過しており、H21～H26 に販売された機械を対象に作成しました。

「検査・整備基準値表」の編集にあたっては、当協会の公益性に鑑み、各メーカーの御賛同と御協力を得て国内で販売されている対象機種的全製品を網羅することを基本方針としました。

当協会の趣旨に御賛同くださり、編集委員の派遣、原稿の提供等に快く応じて下さった各メーカー及び関連各位に対し、心より御礼申し上げます。

平成 27 年 3 月

公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会
会 長 吉 識 晴 夫

高所作業車 検査・整備基準値表の改訂に御尽力くださった方々は次のとおりです。

委 員	宮崎 隆司	株式会社アイチコーポレーション
〃	香川 強	株式会社タダノ
〃	平手 計二	株式会社豊田自動織機
〃	和田 伸明	長野工業株式会社
〃	安中 英雄	北越工業株式会社
〃	伊藤 康志	株式会社前田製作所
事 務 局	岡部 明夫	公益社団法人建設荷役車両安全技術協会
〃	赤池 洋次	公益社団法人建設荷役車両安全技術協会

検査・整備基準値表の利用上の留意事項

1. 「基準値表」の表示

- (1) 「基準値表」の表示はメーカー（ア～オ順）ごとにまとめています。
- (2) 同一メーカー内の表示はタイプ別に概ね 小→大に分類してあり、各メーカーの巻末には検査の際の機械姿勢を図形表示してあります。
- (3) 各ページは、機械のサイズごとに2ページ分の見開きで表示してあります。
左ページの左端に項目を表記し、同サイズの機械のモデル数が多くて収まりきれない場合には2ページの見開き単位で追加してあります。

2. 収録モデルの範囲

(1) 時期的な収録範囲

この「検査・整備基準値表」は、平成21年10月から平成26年10月末の間に販売または発売されたモデルが収録されています。

(2) モデルサイズの収録範囲

この「検査・整備基準値表」には、日本国内市場で販売している、高所作業車をクローラ式、ホイール式、トラック式に分けて収録してあります。

3. 「検査・整備基準値表」の項目の選定

定期自主検査指針（平成3年7月付け公示13号）において「メーカーの定める基準値」と表記してある項目を収録してその基準値を数値で表示することを原則としていますが、追加収録する項目の選定及び基準値の表記方法等はメーカーの自主判断に委ねてあります。

凡 例

単位は、国際単位系（SI 単位系）に基づく新計量法（平成 4 年 5 月 20 日 法律第 51 号）による。

主要 S I 単位項目別換算表

項目	A. 力		B. 力のモーメント		C. 圧力		D. 応力			E. 仕事率	
	従来単位	S I 単位	従来単位	S I 単位	従来単位	S I 単位	従来単位	S I 単位		従来単位	S I 単位
単位	kgf	N	kgf・m	N・m	kgf/cm ²	Pa	kgf/mm ²	N/m ²	N/mm ²	PS	kW
換算値	1	9.80665	1	9.80665	1	98066.5	1	9806650	9.80665	1	0.7355
	0.101972	1	0.101972	1	0.000102	1	0.000001	0.101972	1	0.000001	1
							0.101972	1000000	1		
記入項目例	牽引力 引張張力 1kgf=9.80665N		締め付けトルク エンジントルク		リリーフ圧力 空気圧 175kgf/cm ² =17.2MPa					エンジン出力 1PS=0.7355kW	

単位の接続語（主要単位）

S I 単位の接続語は、S I 単位の倍数を示す。

（たとえば MP a の M は、1 MP a = 1 × 10⁶ P a = 1,000,000 P a となる。）

名称	記号	単位に乘じる倍数	単位数	名称	記号	単位に乘じる倍	単位数
ギガ	G	1 0 ⁹	1,000,000,000	デシ	d	1 0 ⁻¹	0.1
メガ	M	1 0 ⁶	1,000,000	センチ	c	1 0 ⁻²	0.01
キロ	k	1 0 ³	1,000	ミリ	m	1 0 ⁻³	0.001
ヘクト	h	1 0 ²	100	マイクロ	μ	1 0 ⁻⁶	0.000001
デカ	d a	1 0	10	ナノ	n	1 0 ⁻⁹	0.000000001

高所作業車 検査・整備基準値表

目 次

(株)アイチコーポレーション	クローラ式（内燃機式）SR10A～	2
	ホイール式（内燃機式）SP10CSN～	4
	クローラ式（蓄電池式）RX05B～	6
	ホイール式（蓄電池式）SV05CSN～	8
	トラック式 SE08C～	10
	トラック式 SB10A～	12
(株) タ ダ ノ	クローラ式（内燃機式）AC-121TG-2	18
	ホイール式（内燃機式）AW-215TG-2	20
	トラック式（TG）AT-100TG-4	24
	トラック式（CG）AT-157CG-1	28
	トラック式（TT）AT-80TT-3	32
	トラック式（TE）AT-110TE-4	36
	トラック式（SD）AT-100SR-2	40
	トラック式（BT）BT-110-1	44
(株)豊田自動織機	ホイール式（内燃機式）4JD18	52
長野工業(株)	クローラ式（内燃機式）NUL090-5	56
	ホイール式（内燃機式）NUL12W	58
	クローラ式（蓄電池式）NUX06C	60
北越工業(株)	クローラ式（蓄電池式）ENCL061-1	64
(製造元：イーエヌシステム(株))	ホイール式（蓄電池式）ENTL061-2	66
(株)前田製作所	クローラ式（内燃機式）HF090-6	68

アイチコーポレーション

適用範囲				モデル名		SR10A	SR12B	SR18A	SR18A
				適用号機		STD	STD	エンジン型式 4LE2 搭載車	エンジン型式 4LE2 搭載車
				スペック番号		—	—	AQ* AQ***	*S***
区分	検査箇所		適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値			
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	ローアイドル	min ⁻¹	1150	1150	1400	1400	
			ハイアイドル	min ⁻¹	2400	2400	1800	1800	
		弁すき間	吸気弁	mm	0.2	0.2	0.4	0.4	
			排気弁	mm	0.2	0.2	0.4	0.4	
		圧縮圧力		Mpa (kgf/cm ²)	3.24 (33)	3.24 (33)	3.04 (31)	3.04 (31)	
		回転速度		min ⁻¹	250	250	250	250	
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り		mm	10	10	10	10	
		※ベルト押し付け力		N (kgf)	100 (10.2)	100 (10.2)	98 (10)	98 (10)	
走行装置	履帯 クローラベルト	ゴムベルト張り(たわみ量)※5		mm	—	—	—	—	
		鉄シュー	張り(たわみ量)※5	mm	25～40	25～40	220～260	280～310	
	走行ブレーキ	制動距離		m	—	—	—	—	
	駐車ブレーキ	最低停止保持勾配		°	—	—	—	—	
作業装置	ブーム	スライディング パッド部がた	上下方向	mm	0.5～0.9	2～3	0.5～0.9	0.5～0.9	
			左右方向	上側	mm	0.5～0.9	1～2	1～2	
				下側	mm	0.5～0.9	1～2	6～7	6～7
		スライディングパッド		摩耗量	mm	2以下	2以下	2以下	2以下
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧	首振り側	Mpa (kg/cm ²)	— —	— —	— —	— —	
			走行側	Mpa (kg/cm ²)	20.6 (210)	20.6 (210)	31.4 (320)	34.3 (350)	
		ポンプ回転数	低速	min ⁻¹	1130	1150	1400	1400	
			高速	min ⁻¹	2400	2400	1800	1800	
		※作動油		—	VG22	VG22	VG22	VG22	
		油温		℃	40±10	40±10	40±10	40±10	
	油圧シリンダー	自然伸縮量	リフト	mm/10min	2	2	2	2	
安全装置	車体傾斜角 警報装置	作動角度	前後	°	3.5±0.5	3.5±0.5	3.5±0.5	3.5±0.5	
			左右	°	3.5±0.5	3.5±0.5	3.5±0.5	3.5±0.5	
	作業範囲 規制装置	リミットスイッチ 作動高さ	高速走行規制	m	ブーム水平以上 ブーム全縮以外	ブーム水平以上 ブーム全縮以外	ブーム水平以上 ブーム全縮以外	ブーム水平以上 ブーム全縮以外	
			走行規制	m	—	—	—	—	
			上昇規制検知	m	—	—	—	—	
総合テスト	作動速度 測定方法 ※2	起伏(リフト)	上	s	35±6	35±6	40±6	40±6	
			下	s	35±6	35±6	46±6	46±6	
		伸縮	伸	s	25±5	25±6	35±6	35±6	
			縮	s	25±5	25±6	30±6	30±6	
		旋回	右	s	80±10	80±12	80±12	80±12	
			左	s	80±10	80±12	80±12	80±12	
		バスケット首振	右	s	25±5	22±4	30±5	30±5	
			左	s	25±5	22±4	30±5	30±5	
		走行	高	km/h	1.5±0.3	1.5±0.3	1.5±0.3	1.5±0.3	
			低	km/h	0.9±0.2	0.9±0.2	0.5±0.2	0.5±0.2	

クローラ式（内燃機式）

SR21A	SR21A							
エンジン型式 4LE2 搭載車	エンジン型式 4LE2 搭載車							
AQ***	*S***							
検 査 基 準 値								
1400	1400							
1800	1800							
0.4	0.4							
0.4	0.4							
3.04 (31)	3.04 (31)							
250	250							
10	10							
98 (10)	98 (10)							
—	—							
220～260	280～310							
—	—							
—	—							
0.5～0.9	0.5～0.9							
1～2	1～2							
6～7	6～7							
2以下	2以下							
—	—							
—	—							
31.4 (320)	34.3 (350)							
1400	1400							
1800	1800							
VG22	VG22							
40±10	40±10							
2	2							
3.5±0.5	3.5±0.5							
3.5±0.5	3.5±0.5							
ブーム水平以上 ブーム全縮以外	ブーム水平以上 ブーム全縮以外							
—	—							
—	—							
40±6	40±6							
46±6	46±6							
45±6	45±6							
35±6	35±6							
80±12	80±12							
80±12	80±12							
30±5	30±5							
30±5	30±5							
1.5±0.3	1.5±0.3							
0.5±0.2	0.5±0.2							

アイチコーポレーション

適用範囲		モデル名			SP10CSN	SP12CSN	SP18A	SP21A
		適用号機			STD	STD	エンジン型式 4LE2 搭載車	エンジン型式 4LE2 搭載車
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値			
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	ローアイドル	min ⁻¹	1300	1300	1400	1400
			ハイアイドル	min ⁻¹	2000	2000	1750	1750
		弁すき間	吸気弁	mm	0.15～0.25	0.15～0.25	0.4	0.4
			排気弁	mm	0.15～0.25	0.15～0.25	0.4	0.4
		圧縮圧力		Mpa (kgf/cm ²)	3.33～3.53 (34～36)	3.33～3.53 (34～36)	3.04 (31)	3.04 (31)
		※回転速度		min ⁻¹	250	250	250	250
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り		mm	10	10	10	10
		※ベルト押し付け力		N (kgf)	98 (10)	98 (10)	98 (10)	98 (10)
走行装置	ホイール	ソリッドタイヤ	摩耗量	—	ノーパンクタイヤ	ノーパンクタイヤ	ノーパンクタイヤ	ノーパンクタイヤ
	走行ブレーキ	制動距離		m	—	—	—	—
	駐車ブレーキ	ドラムとライニングのすき間		mm	—	—	—	—
		最低停止保持勾配		°	—	—	—	—
作業装置	ブーム	スライディングパッド部がた	上下方向	mm	0.5～1.0	0.5～1.0	0.5～0.9	0.5～0.9
			左右方向 上側	mm	0.5～0.9	0.5～0.9	1～2	1～2
			左右方向 下側	mm	0.5～0.9	0.5～0.9	6～7	6～7
		スライディングパッド 摩耗量		mm	2以下	2以下	2以下	2以下
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧		Mpa (kg/cm ²)	20.6 (210)	20.6 (210)	20.6 (210)	20.6 (210)
		ポンプ回転数	低速	min ⁻¹	1300	1300	1400	1400
			高速	min ⁻¹	2000	2000	1750	1750
		※作動油		—	VG22	VG22	VG22	VG22
		油温		°C	40±10	40±10	40±10	40±10
	油圧シリンダー	自然降下量 ※1	起伏	mm/10min	2	2	2	2
			伸縮	mm/10min	2	2	2	2
			平衡装置	mm/10min	2	2	2	2
安全装置	車体傾斜角 警報装置	作動角度	前後	°	3.5±0.5	3.5±0.5	3.5±0.5	3.5±0.5
			左右	°	3.5±0.5	3.5±0.5	3.5±0.5	3.5±0.5
	高速走行規制	ブーム姿勢条件		—	起伏10度以上 ブーム全縮以外	起伏10度以上 ブーム全縮以外	ブーム水平以上 ブーム全縮以外	ブーム水平以上 ブーム全縮以外
	作業範囲 規制装置	測定方法 ※7	作業範囲規制	—	—	○	—	—
			モーメントリミッタ	—	—	—	—	—
総合テスト	作動速度 測定方法 ※2	起伏(リフト)	上	s	40±6	40±6	40±6	40±6
			下	s	40±6	40±6	40±6	40±6
		伸縮	伸	s	20±5	25±5	35±6	45±6
			縮	s	20±5	25±5	30±6	35±6
		旋回	右	s	60±9	60±9	80±12	80±12
			左	s	60±9	60±9	80±12	80±12
		バスケット首振	右	s	15±3	15±3	30±5	30±5
			左	s	15±3	15±3	30±5	30±5
		走行	高	km/h	4±0.4	4±0.4	4±0.6	4±0.6
			低	km/h	1.8±0.2	1.8±0.2	1±0.2	1±0.2

注) 安全装置の作業範囲規制装置測定方法はモデルやウエイトの重量によって異なります。
測定方法はサービスマニュアルを参照して下さい。

ホイール式（内燃機式）

SP25B								
エンジン型式 4LE2 搭載車								
検 査 基 準 値								
1240								
1750								
0.4								
0.4								
3.04 (31)								
250								
10								
98 (10)								
ノーパンクタイヤ								
—								
—								
—								
0.5～0.9								
1～2								
6～7								
2以下								
20.6 (210)								
1240								
1750								
VG22								
40±10								
2								
2								
2								
3.5±0.5								
3.5±0.5								
ブーム水平以上 ブーム全縮以外								
○								
—								
50±7								
50±7								
60±9								
60±9								
95±12								
95±12								
25±5								
25±5								
4±0.6								
1±0.2								

アイチコーポレーション

適用範囲		モデル名			RX05B	RX07B			
		適用号機			STD	STD			
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法			単位	検査基準値			
電動機	モーター	ブラシ高さ 許容限界寸法	許容 限界	ドライブ	mm	—	—		
	駆動用チェーン	駆動用チェーンのたわみ			mm	—	—		
	バッテリー	電圧			V	24	24		
	充電装置	電圧検出リレーの作動電圧			V	28.8	28.8		
	ヒューズ	走行主回路用			A	150	200		
		制御主回路用			A	5、15	5、15		
	ブレーカ	主回路用ブレーカ			A	—	—		
走行装置	履帯 クローラベルト	ゴムベルト張り(たわみ量)			mm —	15 フレーム～ クローラ間	15 フレーム～ クローラ間		
	走行ブレーキ	制動距離			m	—	—		
	駐車ブレーキ	最低停止保持勾配			°	18	15		
油圧装置	油圧ポンプ	昇降	吐出圧	MPa (kgf/cm ²)	11.9 (122)	18.5 (189)			
			※作動油	—	VG22	VG22			
			油温	℃	40±10	40±10			
	油圧シリンダー	自然降下量	リフトシリンダー	mm/10min	2	2			
安全装置	車体傾斜角 警報装置	作動角度	前後方向	°	3±0.5	3±0.5			
			左右方向		3±0.5	3±0.5			
	過積載 防止装置	作動重量			N (kgf)	2647 (270)	3029 (310)		
	作業床 規制装置	格納検知			—	○	○		
		走行規制検知			—	—	—		
		上限規制検知			—	—	—		
総合テスト	作動速度	昇降	上昇	s	32±6	25±5			
			下降	s	27±6	18±4			
		走行	高速	km/h	2.0±0.3	2.0±0.3			
			低速	km/h	1.0±0.15	1.0±0.15			
		直進性 ※4			mm/10m	500以下	500以下		

アイチコーポレーション

適用範囲		モデル名			SV05CNS	SV06CNS	SV06CNL	SV08CNL
		適用号機			STD	STD	STD	STD
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値			
電動機	駆動用ベルト	駆動用チェーンのたわみ		mm	—	—	—	—
	バッテリー	電圧		V	24	24	24	24
	充電装置	電圧検出リレーの作動電圧		V	28.8	28.8	28.8	28.8
	ヒューズ	走行・上昇主回路用		A	200	200	200	200
		制御主回路用		A	10	10	10	10
	ブレーカ	主回路用ブレーカ		A	—	—	—	—
	ホイール	ニューマチックタイヤ	空気圧	MPa (kg/cm ²)	—	—	—	—
		ソリッドタイヤ	摩耗量	—	状態により判断	状態により判断	状態により判断	状態により判断
	走行ブレーキ	制動距離		m	—	—	—	—
	駐車ブレーキ	ドラムとライニングのすき間		mm	—	—	—	—
最低停止保持勾配		°	14	14	14	14		
作業装置	マスト	スライディングパッド部がた	マスト上側	mm	—	—	—	—
			マスト下側	mm	—	—	—	—
		スライディングパッド 摩耗量		mm	—	—	—	—
油圧装置	油圧ポンプ	昇降	吐出圧	MPa (kgf/cm ²)	18.1 (185)	18.1 (185)	18.1 (185)	18.1 (185)
			※作動油	—	VG22	VG22	VG22	VG22
			油温	℃	40±10	40±10	40±10	40±10
		操舵	吐出圧	MPa (kgf/cm ²)	18.1 (185)	18.1 (185)	18.1 (185)	18.1 (185)
			※作動油	—	VG22	VG22	VG22	VG22
			油温	℃	40±10	40±10	40±10	40±10
		メイン	吐出圧	MPa (kgf/cm ²)	18.1 (185)	18.1 (185)	18.1 (185)	18.1 (185)
			※作動油	—	VG22	VG22	VG22	VG22
			油温	℃	40±10	40±10	40±10	40±10
	油圧シリンダー	自然降下量	リフトシリンダー	mm/10min	2	2	2	2
安全装置	車体傾斜角 警報装置	作動角度	前後方向	°	2±0.5	2±0.5	2±0.5	2±0.5
			左右方向	°	2±0.5	2±0.5	2±0.5	2±0.5
	過積載 防止装置	作動重量	N (kgf)	3138 (320)	2647 (270)	4216 (430)	2942 (300)	
	作業床 規制装置	格納検知		—	○	○	○	○
		走行規制検知		—	—	—	—	—
		上限規制検知		—	○	○	○	○
総合テスト	作動速度	昇降	上昇	s	20±4	30±6	30±6	40±8
			下降	s	20±4	30±6	30±6	40±8
		走行	高速	km/h	4.5±0.7	4.5±0.7	4.5±0.7	4.5±0.7
			低速	km/h	0.8±0.1	0.8±0.1	1.0±0.2	1.0±0.2

ホイール式（蓄電池式）

SV08CWL	SV10CWL							
STD	STD							
検 査 基 準 値								
—	—							
24	24							
28.8	28.8							
200	200							
10	10							
—	—							
—	—							
—	—							
状態により判断	状態により判断							
—	—							
—	—							
14	14							
—	—							
—	—							
—	—							
18.1 (185)	18.1 (185)							
VG22	VG22							
40±10	40±10							
18.1 (185)	18.1 (185)							
VG22	VG22							
40±10	40±10							
18.1 (185)	18.1 (185)							
VG22	VG22							
40±10	40±10							
2	2							
2±0.5	2±0.5							
2±0.5	2±0.5							
5295 (540)	5295 (540)							
○	○							
—	—							
○	○							
50±10	50±10							
40±8	40±8							
3.6±0.5	3.6±0.5							
0.8±0.1	0.8±0.1							

アイチコーポレーション

適用範囲		モデル名			SE08C	SH10A	SH11A	SH15B		
		適用号機又はスペック番号			STD	STD	STD	STD		
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値					
作業装置	ブーム	スライディングパッド部がた	上下	mm	—	0.5～0.9	0.5～0.9	1mm 以下		
			左右	mm	0.5以下	0.5～0.9	0.5～0.9	1～1.2		
		2nd 先端ローラ部のがた		左右	mm	—	—	—	0.1～1.2	
		スライディングパッド		摩耗量	mm	2以下	2以下	2以下	2以下	
	バケット	積載			kg	120	200	200	200	
	油圧ポンプ	吐出圧			MPa (kg/cm ²)	17.2 (175)	17.2 (175)	17.2 (175)	17.6 (180)	
		※ポンプ回転数			min ⁻¹	700+50.-0	800+50.-0	800+50.-0	900+50.-0	
		作動油			—	VG22	VG22	VG22	VG15	
		油温			℃	40±10	40±10	40±10	40±10	
	油圧シリンダー	自然降下量 ※1	起伏	mm	2/10min 以下	2/10min 以下	2/10min 以下	2/10min 以下	2/10min 以下	
			伸縮	mm	2/10min 以下	2/10min 以下	2/10min 以下	2/10min 以下	2/10min 以下	
			ジャッキ	mm	1/10min 以下	1/10min 以下	1/10min 以下	1/10min 以下	1/10min 以下	
			アーム起伏	mm	2/10min 以下	—	—	—	—	
			ウインチ起伏	mm	—	—	—	—	2/10min 以下	
	安全装置	アースリール線	抵抗値			Ω	—	—	—	1以下
		作業範囲 規制装置	規制装置	作業範囲規制	—	—	—	—	—	—
				モーメントリミッタ	—	—	—	—	—	○
		インターロック	ジャッキインターロック			—	○	○	○	○
			ブームインターロック			—	○	○	○	○
駐車ブレーキインターロック			—	○	—	—	—			
総合テスト	作動速度	起伏 ※2－1	上	s	27±3	24+4.-2	24+4.-2	35±5		
			下	s	27±3	21+4.-3	21+4.-3	30±5		
		旋回 ※2－2	右	s	55±5	50+8.-3	50+8.-3	50±10		
			左	s	55±5	50+8.-3	50+8.-3	50±10		
		伸縮 ※2－3	伸	s	14±2	18+4.-2	18+4.-2	33±5		
			縮	s	14±2	18+4.-2	18+4.-2	25±5		
		アーム	上	s	18±3	—	—	—		
			下	s	18±3	—	—	—		
		バケット 首振 ※2－4	右	s	25±3	18±5	18±5	10±5		
			左	s	25±3	18±5	18±5	10±5		
		バケット 昇降速度	上	s	—	—	—	6+3.-2		
			下	s	—	—	—	6+3.-2		
		ウインチ 起伏速度	起	s	—	—	—	6+3.-2		
			伏	s	—	—	—	6+3.-2		
		ウインチ 旋回速度	右	s	—	—	—	7+3.-4		
			左	s	—	—	—	7+3.-4		

注) 安全装置の作業範囲規制装置測定方法は張り幅や、ウエイトの重量によって異なります。
測定方法はサービスマニュアルを参照して下さい。

アイチコーポレーション

適用範囲		モデル名			SB10A	SB12A	SS12A	SK17A	
		適用号機又はスペック番号			STD	STD	STD	STD	
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値				
作業装置	ブーム	スライディングパッド部がた	上下	mm	0.5～0.9	0.5～0.9	0.5～0.9	0.5～0.9	
			左右	mm	0.5～0.9	0.5～0.9	0.5～0.9	0.5～0.9	
		スライディングパッド	摩耗量	mm	2以下	2以下	2以下	2以下	
	バケット	積載			kg	200	200	200	200
	油圧ポンプ	吐出圧			MPa (kg/cm ²)	17.2 (175)	17.2 (175)	18.6 (190)	17.2 (175)
		※ポンプ回転数			min ⁻¹	800+50. -0	800+50. -0	750+50. -0	950+50. -0
		作動油			—	VG22	VG22	VG22	VG22
		油温			℃	40±10	40±10	40±10	40±10
	油圧シリンダー	自然降下量 ※1	起伏	mm	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下	
			伸縮	mm	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下	
			ジャッキ	mm	1/10min以下	1/10min以下	1/10min以下	1/10min以下	
			ウインチ起伏	mm	—	—	—	—	
	安全装置	アースリール線	抵抗値			Ω	—	—	—
作業範囲 規制装置		規制装置	作業範囲規制	—	—	—	—	○	
			モーメントリミッタ	—	—	—	—	—	
インターロック		ジャッキインターロック			—	○	○	○	○
		ブームインターロック			—	○	○	○	○
		駐車ブレーキインターロック			—	—	—	—	—
総合テスト	作動速度 上部	起伏 ※2－1	上	s	24+4. -2	30±5	30±10	35±7	
			下	s	21+4. -3	30±5	30±10	35±7	
		旋回 ※2－2	右	s	50+8. -3	60±10	60±10	50±10	
			左	s	50+8. -3	60±10	60±10	50±10	
		伸縮 ※2－3	伸	s	16+4. -2	25±3	30±10	45±5	
			縮	s	15+4. -2	20±3	25±10	40±5	
		バケット 首振 ※2－4	右	s	18±5	20±5	30±5	25±5	
			左	s	18±5	20±5	30±5	25±5	
		プラットフォーム旋回 ※2－5	右	s	—	—	—	—	
			左	s	—	—	—	—	
	作動速度 下部	起伏	上	s	24+4. -2	30±5	30±10	55±10	
			下	s	21+4. -3	30±5	30±10	55±10	
		旋回	右	s	50+8. -3	60±10	60±10	100±20	
			左	s	50+8. -3	60±10	60±10	100±20	
		伸縮	伸	s	16+4. -2	25±3	30±10	45±5	
			縮	s	15+4. -2	20±3	25±10	40±5	
		プラットフォーム旋回	右	s	—	—	—	—	
			左	s	—	—	—	—	

注) 安全装置の作業範囲規制装置測定方法は張り幅や、ウエイトの重量によって異なります。
測定方法はサービスマニュアルを参照して下さい。

トラック式

TZ10A	TZ12A	TZ16BFS	TZ20BFS					
STD	STD	STD	STD					
検 査 基 準 値								
2～3	2～3	0.5～0.9	0.5～0.9					
1～2	1～2	0.5～0.9	0.5～0.9					
2以下	2以下	2以下	2以下					
1000	1000	1000	1000					
17.2 (175)	17.2 (175)	18.6 (190)	18.6 (190)					
900+50. -0	900+50. -0	1150+50. -0	1100+50. -0					
VG22	VG22	VG22	VG22					
40±10	40±10	40±10	40±10					
2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下					
2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下					
1/10min以下	1/10min以下	1/10min以下	1/10min以下					
—	—	—	—					
—	—	—	—					
—	—	—	—					
○	○	○	○					
○	○	○	○					
○	○	○	○					
—	—	—	—					
40±10	45±10	45±10	60±10					
45±10	45±10	45±10	60±10					
60±10	60±10	60±10	75±10					
60±10	60±10	60±10	75±10					
25±10	35±10	40±10	55±10					
25±10	35±10	40±10	55±10					
—	—	—	—					
—	—	—	—					
60±10	60±10	60±10	67±10					
60±10	60±10	60±10	67±10					
40±10	40±10	45±10	60±10					
45±10	45±10	45±10	60±10					
60±10	60±10	60±10	75±10					
60±10	60±10	60±10	75±10					
25±10	35±10	40±10	55±10					
40±10	35±10	40±10	55±10					
60±10	60±10	60±10	67±10					
60±10	60±10	60±10	67±10					

アイチコーポレーション

※ 1. シリンダー自然降下量

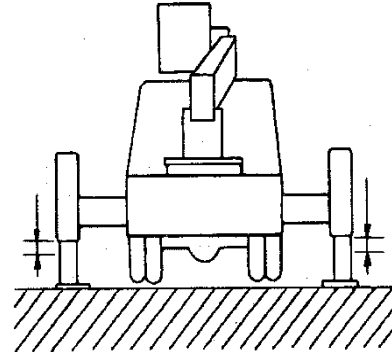
1. ジャッキシリンダー

[測定要領]

- 1) 車体を水平堅度土上にセットする。
- 2) エンジン停止させる
- 3) ジャッキレバーを「入」に数回操作し、残圧を抜く
- 4) ジャッキポストにマーキングまたは、ダイヤルゲージをセットする
- 5) 1 分後、0 点を合わせる
- 6) 10 分経過させる
- 7) 自然降下量を測定する
(前右、前左、後右、後左)

[判定基準]

ジャッキポストのストロークにて
1mm 以内/10 分



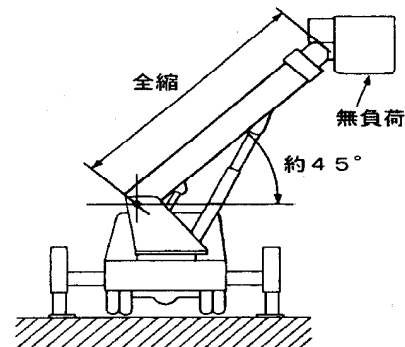
2. 起伏シリンダー

[測定要領]

- 1) ブームを起伏各 45° にセットする
- 2) エンジン停止させる
- 3) 起伏シリンダーのロッドにマーキングまたはダイヤルゲージをセットする
- 4) 残圧を抜き 1 分後または 5 分後、0 点を合わせる
- 5) 10 分経過させる
- 6) 自然降下量を測定する

[判定基準]

ピストンロッドのストロークにて
2mm 以内/10 分



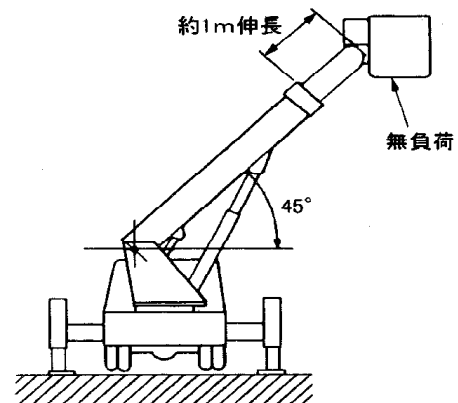
3. 伸縮シリンダー

[測定要領]

- 1) ブームを起伏各 45° にセットする
- 2) ブーム長さを 1m にセットする
- 3) エンジン停止させる
- 4) 第 2 ブームにマーキングまたはダイヤルゲージをセットする
- 4) 残圧を抜き 1 分後または 5 分後、0 点を合わせる
- 5) 10 分経過させる
- 6) 自然降下量を測定する

[判定基準]

第 2 ブームのストロークにて
2mm 以内/10 分



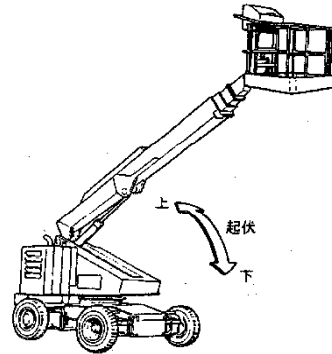
※ 2. 速度測定方法

〔測定要領〕

- 1) 車体を水平堅度土上にセットする。
- 2) 作業車の作業範囲に障害物が無いことを確認する
- 3) 油温は $40 \pm 10^{\circ}\text{C}$ で行なう

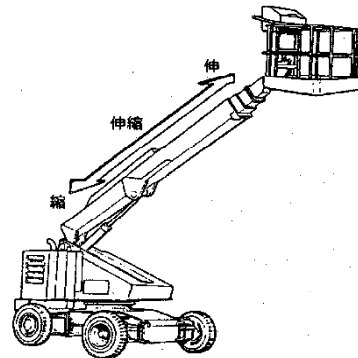
1. ブーム起伏速度

- 1) ブーム全縮状態で、起伏下操作により「下」エンド下げる
- 2) 起伏上操作にて「上」エンドまでの時間を測定する
- 7) 自然降下量を測定する
(前右、前左、後右、後左)



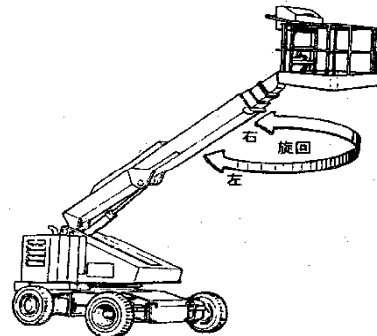
2. ブーム伸縮速度

- 1) ブームを全縮状態で起伏上操作により「上」エンドまで上げる
- 2) 伸操作により「伸」エンドまでの時間を測定する
- 3) 縮操作により「縮」エンドまでの時間を測定する



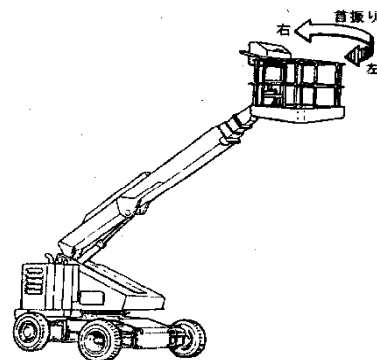
3. ブーム旋回速度

- 1) ブームを全縮、起エンドの状態にする
- 2) ブーム旋回操作により 1 回転するまでの時間を測定する
- 3) ブーム右旋回、左旋回共に行なう



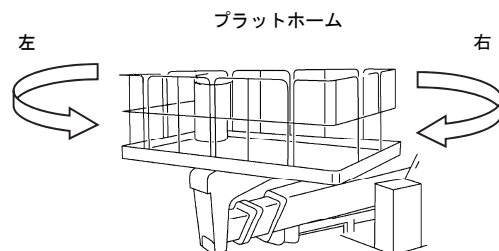
4. 首振り速度

- 1) 首振り操作にて右エンド～左エンドまでの作動時間を測定する
- 2) 首振り右操作、左操作共に行なう



5. プラットフォーム旋回速度

- 1) ブームを全縮、起エンドの状態にする
- 2) ブーム旋回操作により 1 回転するまでの時間を測定する
- 3) ブーム右旋回、左旋回共に行なう

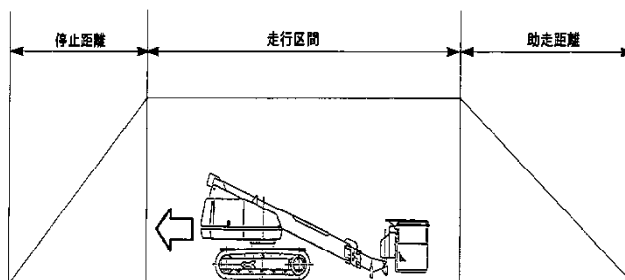


アイチコーポレーション

※ 3. 走行速度測定方法

[測定要領]

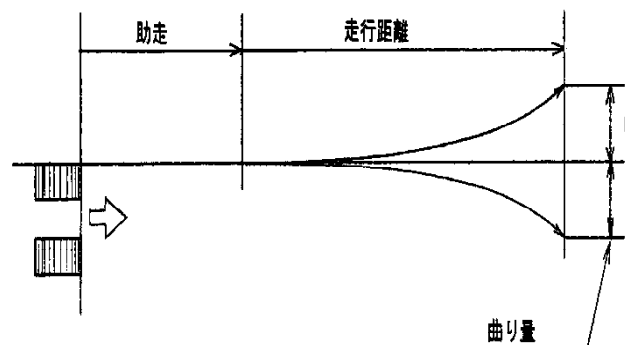
- 1) 車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にセットする
 - 2) 走行操作レバーをいっぱいまで操作する
 - 3) 車両が最大速度になるまで助走させる
 - 4) 速度が安定した走行区間の速度を測定する
- ※ ブームの姿勢や切り替えスイッチを切り替え「高速」、「低速」を



※ 4. 走行直進性測定方法

[測定要領]

- 1) 車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にセットする
- 2) 走行操作レバーをいっぱいまで操作する
- 3) 車両が最大速度になるまで助走させる
- 4) 最高速度で約 10m 走行させ曲がった距離を測定する

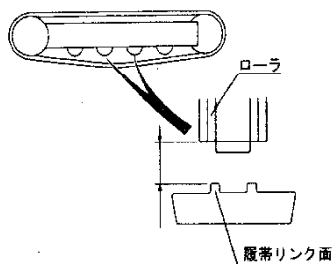


※ 5. 履帯たわみ測定方法

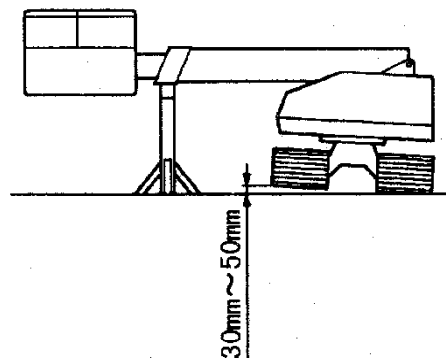
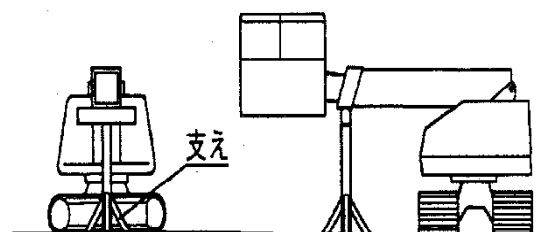
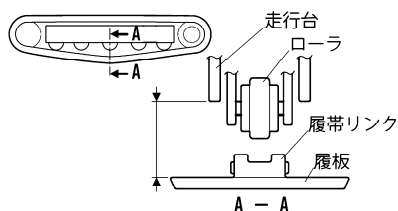
[測定要領]

- 1) 車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にセットする
- 2) 第 1 ブーム先端部に支柱セットする
- 3) ブーム「伏」操作を行い履帯を地面から 30mm~50mm 浮かせたわみ量の測定をする

1. SR10A、SR12B
SR18/21A スペック (AQ*、AQ***)



2. SR18/21A スペック (*S***)



※6. 作業半径測定方法

[検査機器]

1. 角度計
2. 巻尺
3. 重垂
4. 水系

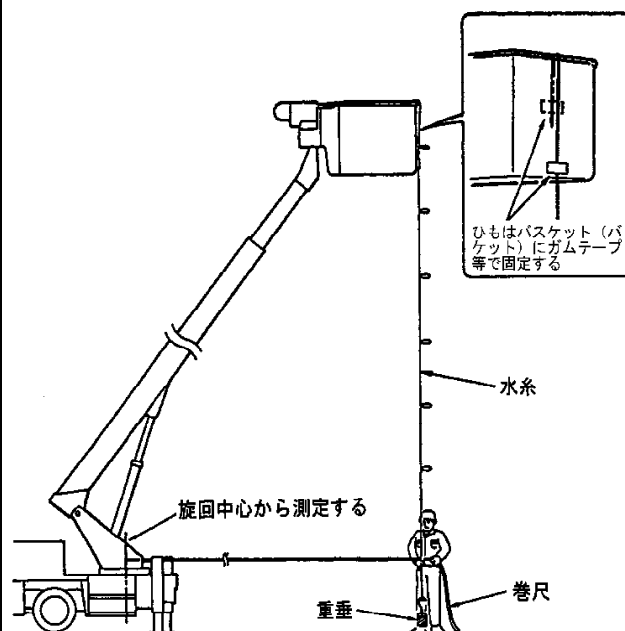
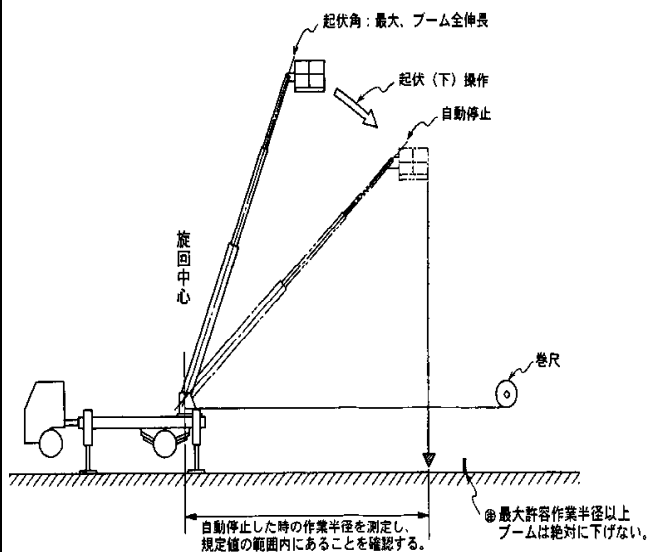
※測定値や測定方法はモデルによって異なります
また同じ機種でも張り幅やウエイトの重量によっても
異なります

[測定例 L-MAX]

※測定はL-MAX（ブーム全伸長）の他にL-MIN（起伏角水平）があります。

詳細はサービスマニュアルを参照してください

- 1) 車両を水平堅土上にセットする
- 2) ジャッキにより全タイヤを地切りさせる
- 3) 車体は前後左右水平にセットする
(張り幅によって測定値、測定方法が異なります)
- 4) バケットにウエイトを積載する
(機種、仕様により異なっているので各機種のデータを参照のこと)
- 5) ブームの操作は下操作で行なう
- 6) ブーム操作は低速にて行なう
- 7) ブームが自動停止した作業半径を測定する
- 8) 規定の作業半径（最大許容作業半径）に達しても、
ブームの作動が停止しない場合は操作をやめ、作業
半径が大きくなる側への操作は絶対に行なわない
こと
- 9) 測定後ブームを操作する際は、ブームを全縮にした
後、旋回操作を行なうこと



タダノ

適用範囲		モデル名		AC-121TG-2			
		スペック番号		-80201			
		適用号機		BY0105～			
区分	検査箇所	適用項目 ※条件		単位	検査基準値		
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	ローアイドル	min ⁻¹	1250±50		
			ハイアイドル	min ⁻¹	2280		
		弁すき間	吸気弁	mm	0.4		
			排気弁	mm	0.4		
		圧縮圧力		Mpa (kgf/cm ²)	3.4 (35)		
		※回転速度		min ⁻¹	300～400		
走行装置	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り		mm	7		
		※ベルト押し付け力		N (kgf)	98 (10)		
	履帯	ゴムベルト張り(たわみ量)		mm	10～15		
		鉄シュー張り		mm	140～160		
作業装置	走行ブレーキ	制動距離		m	0.5以内		
	駐車ブレーキ	最低停止保持勾配		°	11.5以上		
油圧装置	ブーム	スライディングパッド部がた	上下方向	mm	3以下		
			左右方向	mm	1以下		
安全装置	油圧ポンプ	吐出圧(油温50℃)		Mpa (kgf/cm ²)	24.5 (250)		
		ポンプ回転数		rpm	2200		
	油圧シリンダー ※作業床は無負荷 レバー操作は上げ 伸び操作後中立 エンジン停止時の 自然降下量	自然伸縮量 ※1(添付資料)	起伏 ※ブーム水平全縮状態	mm/10min	3以下		
			伸縮 ※起伏最大角状態・ ブーム約10cm 伸長状態	mm/10min	3以下		
総合テスト	作動速度 ※2(添付資料)	平衡装置 ※ブーム水平全縮状態		mm/10min	1以下		
		車体傾斜 警報装置		°	3		
		過積載防止装置		kg	—		
		作業範囲 規制装置		—	—		
		速度規制装置		—	確認		
		タッチスイッチ		—	確認		
安全装置	作動警報装置	フットスイッチを踏むと作動を ブザーで警報する		—	確認		
		起伏 ※ブーム全縮	上	s	50±3		
			下	s	50±3		
		伸縮 ※起伏角最大	伸・縮	s	35±3		
		旋回 ※起伏最大、ブーム全縮	右・左	s	80±5		
		首振速度 ※ブーム全縮・水平	右・左	s	20±5		
		走行 ※走行姿勢 ブーム全縮・起伏角度0° 以下	高速	s/10m	24±3		
			低速	s/10m	40±3		

タダノ

適用範囲		モデル名			AW-215TG-2	AW-215TG-3	AW-250TG-2	AW-250TG-3	
		スペック番号			-81011	-80101	-81011, 12	-80101, 20	
		適用号機			285308～	285307～	420440～	420436～	
区分	検査箇所	適用項目 ※条件		単位	検査基準値				
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	無負荷時	min ⁻¹	2300±25	—	2300±25	—	
			走行リリーフ時	min ⁻¹	—	1700±25	—	1700±25	
		弁すき間 ※冷態時	吸気弁	mm	0.4	0.25	0.4	0.25	
			排気弁	mm	0.4	0.25	0.4	0.25	
		圧縮圧力		Mpa (kgf/cm ²)	1.96～2.55 (20～26)	2.8～3.2 (29～33)	1.96～2.55 (20～26)	2.8～3.2 (29～33)	
		※回転速度		min ⁻¹	200	300	200	300	
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り		mm	10～15	12	10～15	12	
		※ベルト押し付け力		N (kgf)	98 (10)	98 (10)	98 (10)	98 (10)	
	バッテリー	比重 ※液温20℃			—	1.22以上	1.22以上	1.22以上	1.22以上
	走行装置	ホイール	ソリッドタイヤ	摩耗量	—	ノーパンクタイヤ	ノーパンクタイヤ	ノーパンクタイヤ	ノーパンクタイヤ
走行ブレーキ		制動距離		m	—	—	—	—	
駐車ブレーキ		ドラムとライニングのすき間		mm	—	—	—	—	
		最低停止可能勾配		°	1/5勾配 11° 19'	1/5勾配 11° 19'	1/5勾配 11° 19'	1/5勾配 11° 19'	
作業装置	ブーム	スライディングパッド部のがた	上下方向	mm	3以下	3以下	3以下	3以下	
			左右方向	mm	2以下	2以下	2以下	2以下	
		スライディングパッド	摩耗量	mm	—	—	—	—	
		ラップ部底板へこみ ()は4段ブーム	セカンド	mm	3以下	3以下	3以下	3以下	
			トップ(サード)	mm	2.5以下	2.5以下	2.5以下	2.5以下	
			(トップ)	mm	—	—	—	—	
		局部へこみ 但し、へこみ長さは50mm 以上			mm	2以下	2以下	2以下	2以下
	調整用ナット 締付けトルク	縮側	サード トップ	N・m (kgf・m)	伸縮ワイヤ 調整要領参照	伸縮ワイヤ 調整要領参照	伸縮ワイヤ 調整要領参照	伸縮ワイヤ 調整要領参照	
		伸側	サード トップ						
	伸縮ワイヤたるみ	セカンド、トップ(サード)ブームの伸長差 ※ブーム水平状態でセカンドブームを全縮より約10cm 伸長する。			mm	10以下	10以下	10以下	10以下
	平衡装置	①起伏上げ操作にて作業床の測定位置を決める。 ②作業床内の測定場所に水準器を置き、作業床基準値を測定する。 ③ストロークエンドまで起伏の上げ下げを10回行う。 ④測定位置へ起伏上げ操作で停止させる。 ⑤作業床の角度変位量を測定する。			°	1° 以下	1° 以下	1° 以下	1° 以下
		上記⑤の状態よりスタートする。 ⑥ブーム起伏角を約10° 上げる。 ⑦測定位置へ起伏下げ操作で停止させる。 ⑧作業床の角度変位量を測定する。				2° 以下	2° 以下	2° 以下	2° 以下

ホイール式（内燃機式）

AW-370TG-1	AW-370TG-3							
-81011	-80101, 02							
HE0193	HE0203～							
検 査 基 準 値								
2300±25	—							
—	1700±25							
0.4	0.25							
0.4	0.25							
1.96～2.55 (20～26)	2.8～3.2 (29～33)							
200	300							
10～15	12							
98 (10)	98 (10)							
1.22以上	1.22以上							
ノーパンクタイヤ	ノーパンクタイヤ							
—	—							
—	—							
1/5勾配 11° 19′	1/5勾配 11° 19′							
3以下	3以下							
2以下	2以下							
—	—							
4以下	4以下							
(3以下)	(3以下)							
2.5以下	2.5以下							
2以下	2以下							
伸縮ワイヤ 調整要領参照	伸縮ワイヤ 調整要領参照							
10以下	10以下							
1° 以下	1° 以下							
2° 以下	2° 以下							

タダノ

適用範囲		モデル名			AW-215TG-2	AW-215TG-3	AW-250TG-2	AW-250TG-3	
		スペック番号			-81011	-80101	-81011, 12	-80101, 20	
		適用号機			285308～	285307～	420440～	420436～	
区分	検査箇所	適用項目 ※条件			単位	検査基準値			
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧	No1 ポンプ	ブーム全縮水平、4輪に歯止めをし、下部操作で低速前進操作	Mpa (kgf/cm ²)	20.6±0.5 (210±5)	21.6±0.5 (220±5)	22.5±0.5 (230±5)	22.5±0.5 (230±5)
			No2 ポンプ	右ステアリングストロークエンド操作、アクセル低速 ※ジャッキ装置無し		13.7±0.5 (140±5)	13.7±0.5 (140±5)	11.8±0.5 (120±5)	15.7±0.5 (160±5)
				右ステアリングストロークエンド操作、アクセル低速 ※ジャッキ装置有り		—	13.7±0.5 (140±5)	13.7±0.5 (140±5)	15.7±0.5 (160±5)
		油温			℃	40±5	40±5	40±5	40±5
		ポンプ回転数 ※は無負荷時を示す。但し ()は走行リリーフ時。		高速	min ⁻¹	2300±25	(1700±25)	2300±25	(1700±25)
				低速		1125±25	(1025±25)	1125±25	(1025±25)
	油圧シリンダー 作業床は無負荷レバー操作は上げ・伸び操作後中立、エンジン停止時の自然降下量	自然降下量 ※1(添付資料)	起伏 ※ブーム水平全縮状態		mm/10min	2以下	2以下	2以下	2以下
			伸縮 ※起伏最大角状態・ブーム約10cm伸長状態		mm/10min	3以下	3以下	3以下	3以下
			平衡装置 ※ブーム水平全縮状態・セレクトバルブは開		mm/10min	1以下	1以下	1以下	1以下
	安全装置	車体傾斜角 警報装置	ブーム起伏角 10° 以下			°	4.5±0.5以上	4.5±0.5以上	4.5±0.5以上
ブーム起伏角 10° 以上			°	3±0.5以上	3±0.5以上	3±0.5以上	3±0.5以上		
走行規制装置		仕様により、モーメント・車体傾斜角・起伏角、作業半径による規制。個々の仕様により判定。			—	確認	確認	確認	確認
作業範囲 規制装置		測定方法 ※4(添付資料)	規制装置	作業範囲規制	AMC3	○	○	—	—
				モーメントリミッタ	AMC3	—	—	○	○
タッチスイッチ		スイッチを作動させるバスケット中央部のワイヤロープ変位量			mm	30±10	30±10	30±10	30±10
速度規制装置		走行中にブーム起伏角度が10° を越える状態では微速モードとなる事を確認する。			—	確認	確認	確認	確認
旋回警報装置 走行警報装置	ブーム旋回・走行操作を行うとブザーが断続音で鳴る。			—	確認	確認	確認	確認	
総合テスト	作動速度 ※2(添付資料)	起伏 ※ブーム全縮		上	s	55±11	55±11	50±10	50±10
		伸縮 ※起伏角度最大		伸	s	53±10	53±10	62±12	62±12
		旋回 ※起伏角度最大、ブーム全縮	右	s	75±15	75±15	75±15	75±15	
			左						
		バケット首振速度		右	s	円滑に作動	円滑に作動	円滑に作動	円滑に作動
				左					
前進 ※10m 区間、ブーム全縮起伏角度水平、高速走行				s/10m	9±2	8±2	9±2	8±2	

注) 作動速度、作業範囲規制装置の測定方法は諸条件等によって異なります。
詳細は、サービスマニュアルを参照して下さい。

ホイール式（内燃機式）

AW-370TG-1	AW-370TG-3							
-81011	-80101, 02							
HE0193	HE0203～							
検 査 基 準 値								
23.5±0.5 (240±5)	23.5±0.5 (240±5)							
11.8±0.5 (120±5)	17.2±0.5 (175±5)							
15.7±0.5 (160±5)	17.2±0.5 (175±5)							
40±5	40±5							
2300±25	(1700±25)							
1125±25	(1025±25)							
2以下	2以下							
3以下	3以下							
1以下	1以下							
4.5±0.5以上	4.5±0.5以上							
3±0.5以上	3±0.5以上							
確認	確認							
—	—							
○	○							
30±10	30±10							
確認	確認							
確認	確認							
52±10	52±10							
93±18	93±18							
75±15	75±15							
円滑に作動	円滑に作動							
9±2	8±2							

タダノ

適用範囲		モデル名			AT-100TG-4	AT-121TG-2 (R)	AT-121TG-2 (F)	AT-121TG-3 (R)		
		スペック番号			-***91, 92 93, 94 (STD仕様)	-***03, 04 (STD仕様)	-***33, 34 (STD仕様)	-***01, 02 (STD仕様)		
		適用号機			219304～	HJ1499～	HJ1358～	HJ1898～		
区分	検査箇所	適用項目 ※条件		単位	検査基準値					
作業装置	ブーム	スライディングパッド部のがた		上下方向	mm	3以下	3以下	3以下	3以下	
				左右方向	mm	2以下	2以下	2以下	2以下	
		スライディングパッド		摩耗量	mm	—	—	—	—	
		底板ラップ部のへこみ		セカンド	mm	2.5以下	2.5以下	2.5以下	2.5以下	
				サード、トップ	mm	2以下	2以下	2以下	2以下	
		局部へこみ (但し、へこみ長さは50mm以上)			mm	2以下	2以下	2以下	2以下	
	伸縮ワイヤたるみ	セカンド、トップ(サード)ブームの伸長差 (ブーム水平状態でセカンドブームを全縮より約10cm伸長する。)			mm	10以下	10以下	10以下	10以下	
		調整用ナット 締付けトルク		縮側	サード トップ	N・m (kgf・m)	8.3(0.85)	8.3(0.85)	8.3(0.85)	8.3(0.85)
				伸側	サード トップ		8.3(0.85)	8.3(0.85)	8.3(0.85)	8.3(0.85)
	平衡装置	①起伏上げ操作にてブームを水平にする。 ②作業床内の測定場所に水準器を置き、作業床傾斜角度を測定する。 ③ストロークエンドまで起伏の上げ下げを10回行う。 ④ブームを水平に起伏上げ操作で停止させる。 ⑤作業床の傾斜角度変位量を測定する。 上記⑤の状態よりスタートする。 ⑥ブーム起伏角を約10°上げる。 ⑦ブームを水平に起伏下げ操作で停止させる。 ⑧作業床の傾斜角度変位量を測定する。			°	1°以下	1°以下	1°以下	1°以下	
						2.0°以下	2.0°以下	2.0°以下	2.0°以下	
増圧器	ブースタ 68.6Mpa(700kgf/cm ²)用			Mpa	—	—	—	—		
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧 ※ゲージポート(アウトリガバルブまたはリヤアウトリガ前側等)			Mpa (kgf/cm ²)	17.2±0.5 (175±5)	17.2±0.5 (175±5)	17.2±0.5 (175±5)	16.2±0.5 (165±5)	
		ポンプ回転数 ※高速(負荷時)	()は いすゞ 「 」は 三菱	min ⁻¹	900±25 (900±25)	900±25 (900±25)	900±25 (900±25)	900±25 (900±25)		
		ポンプ回転数 ※中速(負荷時)	()は いすゞ 「 」は 三菱	min ⁻¹	—	—	—	760±20 (760±20)		
		ポンプ回転数 ※低速(負荷時)	() : いすゞ 「 」 : 三菱 [] : ATor スムーサ	min ⁻¹	610±20 (610±20)	630±20 (630±20)	630±20 (630±20)	610±20 (610±20) [630±20]		
		油温			℃	40±5	40±5	40±5	40±5	
		作動油			—	—	—	—	—	

トラック式 (TG)

AT-121TG-3 (F)	AT-170TG-1	AT-220TG-1	AT-270TG-2	AT-320TG-1				
-***21, 22 41, 42, 81, 82 (STD 仕様)	-***12, 13 14, 18 (STD 仕様)	-***12, 13, 14 (STD 仕様)	-***10, 20 30 (STD 仕様)	-***01, 02 (STD 仕様)				
HJ1904～	230651～	380654～	370854～	370870～				
検 査 基 準 値								
3以下	3以下	3以下	3以下	3以下				
2以下	2以下	2以下	2以下	2以下				
—	—	—	—	—				
2.5以下	2.5以下	2.5以下	2.5以下	2.5以下				
2以下	2以下	2以下	2以下	2以下				
2以下	2以下	2以下	2以下	2以下				
10以下	10以下	10以下	10以下	10以下				
8.3(0.85)	11.8(1.2)	19(1.9) 4.8(0.49)	19(1.9) 5.9(0.6)	25.6(2.6) 9.6(1.0)				
8.3(0.85)	15.7(1.6)	22(2.2) 6.4(0.65)	22(2.2) 7.9(0.8)	35.2(3.6) 12.8(1.3)				
1° 以下	1° 以下	1° 以下	1° 以下	1° 以下				
2.0° 以下	2.5° 以下	2.5° 以下	2.5° 以下	2.0° 以下				
—	—	—	—	—				
16.2±0.5 (165±5)	17.2±0.5 (175±5)	17.2±0.5 (175±5)	17.2±0.5 (175±5)	17.2±0.5 (175±5)				
900±25 (900±25)	950±35 (1000±25)	950±35 (1000±25)	1000±25 (1000±25)	(1200±30)				
760±20 (760±20)	720±20 (750±20)	720±20 (750±20)	860±20 (860±20)	(950±25)				
610±20 (610±20) [630±20]	515±20 (525±20) [645±20]	515±20 (525±20) [645±20]	710±20 (710±20) [860±20]	(710±20)				
40±5	40±5	40±5	40±5	40±5				
—	—	—	—	—				

タダノ

適用範囲		モデル名			AT-100TG-4	AT-121TG-2 (R)	AT-121TG-2 (F)	AT-121TG-3 (R)	
		スペック番号			-***91, 92 93, 94 (STD仕様)	-***03, 04 (STD仕様)	-***33, 34 (STD仕様)	-***01, 02 (STD仕様)	
		適用号機			219304～	HJ1499～	HJ1358～	HJ1898～	
区分	検査箇所	適用項目 ※条件			単位	検査基準値			
油圧装置	油圧シリンダー ※作業床は無負荷、レバー操作は上げ・伸び操作後中立、エンジン停止後の自然降下量	自然降下量 ※1(添付資料)	起伏 ※ブーム水平、全縮状態		mm/10min	2以下	2以下	2以下	2以下
			伸縮 ※起伏角度最大、ブーム約10cm伸長状態		mm/10min	3以下	3以下	3以下	3以下
			アウトリガジャッキ ※シリンダストロークエンド手前停止状態		mm/10min	1以下	1以下	1以下	1以下
			平衡装置 ※ブーム水平、全縮状態・セレクトバルブは開		mm/10min	1以下	1以下	1以下	1以下
			ジブ起伏		mm/10min	—	—	—	—
			屈伸 ※測定可能起伏角度でブーム全縮状態		mm/10min	—	—	—	—
安全装置	アースリール線		抵抗値		Ω	—	—	—	—
	作業範囲規制装置	測定方法 ※4(添付資料)	規制装置	作業範囲規制	AMC3	○	○	○	○
				モーメントリミッタ	AMC3	—	—	—	—
	起伏角度規制装置	200 kg仕様	ブーム全伸における起伏停止角度		°	—	—	—	—
			ブーム水平時における伸長停止長さ		mm	—	—	—	—
	車輻・ブーム干渉防止装置	旋回、伏、伸縮、首振りが自動停止する事。 ※ブームレスト格納付近は停止しない			—	確認	確認	確認	確認
その他規制装置	—			—	—	—	—	—	
総合テスト	作動速度 ※2(添付資料) ※バケット・プラットフォーム側で操作乗員1名	起伏 ※ブーム全縮		上	s	25±5	30±6	30±6	30±6
		旋回 ※起伏角度最大 ブーム全縮		右	s	50±10	60±12	60±12	60±12
				左	s				
		伸縮 ※起伏角度最大	伸	鉄製 ブーム	s	20±4	28±6	28±6	28±6
				FRP製 ブーム	s	—	—	—	—
		バケット首振速度		首振り	s	円滑に作動	円滑に作動	円滑に作動	円滑に作動
		プラットフォーム旋回	アームスイング	s					
		折り曲げ		伸び	s	—	—	—	—
		ウインチ巻上速度 ※15m区間、無負荷				S/15m	—	—	—
低騒音エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	負荷時	min ⁻¹	—	—	—	—	
			アイドリング		—	—	—	—	
		弁すき間(冷態時)	吸気弁	mm	—	—	—	—	
			排気弁		—	—	—	—	
		圧縮圧力(スタータモータを5～10秒間回し、最大値を読む)	基準値	Mpa	—	—	—	—	
			限度	Mpa	—	—	—	—	
		警告灯(充電水温、油圧)				—	—	—	—

注) 作動速度、作業範囲規制装置の測定方法は諸条件等によって異なります。
詳細は、サービスマニュアルを参照して下さい。

トラック式 (TG)

AT-121TG-3 (F)	AT-170TG-1	AT-220TG-1	AT-270TG-2	AT-320TG-1				
-***21, 22 41, 42, 81, 82 (STD 仕様)	-***12, 13 14, 18 (STD 仕様)	-***12, 13, 14 (STD 仕様)	-***10, 20 30 (STD 仕様)	-***01, 02 (STD 仕様)				
HJ1904～	230651～	380654～	370854～	370870～				
検 査 基 準 値								
2以下	2以下	2以下	2以下	2以下				
3以下	3以下	3以下	3以下	3以下				
1以下	1以下	1以下	1以下	1以下				
1以下	1以下	1以下	1以下	1以下				
—	—	—	—	—				
—	—	—	—	—				
—	—	—	—	—				
○	○	—	—	—				
—	—	○	○	○				
—	—	—	—	—				
—	—	—	—	—				
確認	確認	確認	確認	確認				
—	—	—	—	—				
30±6	35±7	50±10	50±10	60±12				
60±12	50±10	60±12	60±12	60±12				
28±6	44±9	50±10	60±12	70±14				
—	—	—	—	—				
円滑に作動	円滑に作動	円滑に作動	円滑に作動	円滑に作動				
—	—	—	—	—				
—	—	—	—	—				
—	—	—	—	—				
—	—	—	—	—				
—	—	—	—	—				
—	—	—	—	—				
—	—	—	—	—				
—	—	—	—	—				

タダノ

適用範囲		モデル名			AT-157CG-1	AT-195CG-1	AT-255CG-1	AT-300CG-2	
		スペック番号			-***09, 10, 11, 12, 14 (STD仕様)	-***04, 05 (STD仕様)	-***22, 23 24, 25 (STD仕様)	-***01 (STD仕様)	
		適用号機			375753～	240522～	385612～	HG0035～	
区分	検査箇所	適用項目 ※条件			単位	検査基準値			
作業装置	ブーム	スライディングパッド部のがた	上下方向	mm	3以下	3以下	3以下	3以下	
			左右方向	mm	2以下	2以下	2以下	2以下	
		スライディングパッド	摩耗量	mm	—	—	—	—	
		底板ラップ部のへこみ	セカンド	mm	2.5以下	2.5以下	2.5以下	2.5以下	
			サード、トップ	mm	2以下	2以下	2以下	2以下	
		局部へこみ (但し、へこみ長さは50mm 以上)			mm	2以下	2以下	2以下	2以下
	伸縮ワイヤたるみ	セカンド、トップ(サード)ブームの伸長差 (ブーム水平状態でセカンドブームを全縮より約10cm 伸長する。)			mm	10以下	10以下	10以下	10以下
		調整用ナット 締付けトルク	縮側	サードトップ	N・m (kgf・m)	11.8(1.2)	11.8(1.2)	20.5(2.1)	25.6(2.6)
			伸側	サードトップ		15.7(1.6)	15.7(1.6)	23(2.3)	35.2(3.6)
	平衡装置	①起伏上げ操作にてブームを水平にする。 ②作業床内の測定場所に水準器を置き、作業床傾斜角度を測定する。 ③ストロークエンドまで起伏の上げ下げを10回行う。 ④ブームを水平に起伏上げ操作で停止させる。 ⑤作業床の傾斜角度変位量を測定する。			°	2.0° 以下	2.0° 以下	3.0° 以下	3.0° 以下
		上記⑤の状態よりスタートする。 ⑥ブーム起伏角を約10° 上げる。 ⑦ブームを水平に起伏下げ操作で停止させる。 ⑧作業床の傾斜角度変位量を測定する。				2.0° 以下	2.0° 以下	3.0° 以下	3.0° 以下
	増圧器	ブースタ 68.6Mpa(700kgf/cm ²) 用			Mpa	—	—	—	—
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧 ※ゲージポート(アウトリガバルブ またはリヤアウトリガ前側等)			Mpa (kgf/cm ²)	17.2±0.5 (175±5)	17.2±0.5 (175±5)	17.7±0.5 (180±5)	17.7±0.5 (180±5)
		ポンプ回転数 ※高速(負荷時)	「」は 三菱 「」はHG0035, 38のみ	min ⁻¹	1000±25 「900±35」	1000±25	1020±30	1330±30 [1200±30]	
		ポンプ回転数 ※中速(負荷時)	「」はHG0035, 38のみ	min ⁻¹	—	—	840±30	1070±25 [950±25]	
		ポンプ回転数 ※低速(負荷時)	「」は 三菱 「」はHG0035, 38のみ	min ⁻¹	525±20 「525±20」	525±20	710±30	780±20 [710±20]	
		油温			℃	40±5	40±5	40±5	40±5
		作動油			—	—	—	—	—

タダノ

適用範囲		モデル名			AT-157CG-1	AT-195CG-1	AT-255CG-1	AT-300CG-2		
		スペック番号			-***09, 10, 11, 12, 14 (STD仕様)	-***04, 05 (STD仕様)	-***22, 23 24, 25 (STD仕様)	-***01 (STD仕様)		
		適用号機			375753～	240522～	385612～	HG0035～		
区分	検査箇所	適用項目 ※条件			単位	検査基準値				
油圧装置	油圧シリンダー ※作業床は無負荷、レバー操作は上げ・伸び操作後中立、エンジン停止後の自然降下量	自然降下量 ※1(添付資料)	起伏 ※ブーム水平、全縮状態	mm/10min	2以下	2以下	2以下	2以下		
			伸縮 ※起伏角度最大、ブーム約10cm伸長状態	mm/10min	3以下	3以下	3以下	3以下		
			アウトリガ・ジャッキ ※シリンダストロークエンド手前停止状態	mm/10min	1以下	1以下	1以下	1以下		
			平衡装置 ※ブーム水平、全縮状態・セレクトバルブは開	mm/10min	1以下	1以下	1以下	1以下		
			ジブ起伏	mm/10min	—	—	—	—		
			屈伸 ※測定可能起伏角度でブーム全縮状態	mm/10min	2以下	2以下	2以下	2以下		
安全装置	アースリール線		抵抗値		Ω	—	—	—	—	
	作業範囲規制装置	測定方法 ※4(添付資料)	規制装置	作業範囲規制	AMC3	○	○	○	○	
				モーメントリミッタ	AMC3	—	—	—	—	
	起伏角度規制装置	200 kg仕様	ブーム全伸における起伏停止角度		°	—	—	—	—	
			ブーム水平時における伸長停止長さ		mm	—	—	—	—	
	車輻・ブーム干渉防止装置	旋回、伏、伸縮、首振りが自動停止する事。 ※ブームレスト格納付近は停止しない			—	確認	確認	確認	確認	
その他規制装置				—	—	—	—	—		
総合テスト	作動速度 ※2(添付資料) ※バケット・プラットフォーム側で操作 乗員1名	起伏 ※ブーム全縮		上	s	35±7	35±7	50±10	60±12	
		旋回 ※起伏角度最大 ブーム全縮		右	s	60±12	60±12	60±12	60±12	
				左	s					
		伸縮 ※起伏角度最大		伸	鉄製 ブーム	s	30±6	48±10	52±11	65±13
					FRP製 ブーム	s	—	—	—	—
		バケット首振速度		首振り		s	円滑に作動	円滑に作動	円滑に作動	円滑に作動
		プラットフォーム旋回		アームスイング		s				
		折り曲げ		伸び		s	30±6	30±6	65±13	70±14
		折り曲げブーム伸び (※屈伸角度水平)				s	—	—	20±4	25±5
低騒音エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度		負荷時	min ⁻¹	—	—	—	—	
				アイドリング		—	—	—	—	
		弁すき間(冷態時)		吸気弁	mm	—	—	—	—	
				排気弁		—	—	—	—	
		圧縮圧力(スタータモータを5～10秒間回し、最大値を読む)		基準値	Mpa	—	—	—	—	
				限度	Mpa	—	—	—	—	
		警告灯(充電, 異音, 油圧)				—	—	—	—	—

注) 作動速度、作業範囲規制装置の測定方法は諸条件等によって異なります。
詳細は、サービスマニュアルを参照して下さい。

タダノ

適用範囲		モデル名			AT-80TT-3	AT-100TT-4 AT-100TTE-4	AT-110TT-4 AT-110TTE-4	AT-100TT-5 AT-100TTE-5		
		スペック番号			STD仕様	STD仕様	STD仕様	STD仕様		
		適用号機			HH5159～	217981～	218925～	HK0335～		
区分	検査箇所	適用項目 ※条件			単位	検査基準値				
作業装置	ブーム	スライディングパッド部のがた		上下方向	mm	3以下	3以下	3以下	3以下	
				左右方向	mm	2以下	2以下	2以下	2以下	
		スライディングパッド		摩耗量	mm	—	—	—	—	
				底板ラップ部のへこみ		セカンド	mm	2.5以下	2.5以下	2.5以下
		サード、トップ	mm			2以下	2以下	2以下	2以下	
		局部へこみ (但し、へこみ長さは50mm 以上)			mm	2以下	2以下	2以下	2以下	
	伸縮ワイヤたるみ	セカンド、トップ(サード)ブームの伸長差 (ブーム水平状態でセカンドブームを全縮より約10cm 伸長する。)			mm	10以下	10以下	10以下	10以下	
		調整用ナット 締付けトルク		縮側	サード トップ	N・m (kgf・m)	8.3(0.85)	8.3(0.85)	8.3(0.85)	8.3(0.85)
				伸側	サード トップ		8.3(0.85)	8.3(0.85)	8.3(0.85)	8.3(0.85)
	平衡装置	①起伏上げ操作にてブームを水平にする。 ②作業床内の測定場所に水準器を置き、作業床傾斜角度を測定する。 ③ストロークエンドまで起伏の上げ下げを10回行う。 ④ブームを水平に起伏上げ操作で停止させる。 ⑤作業床の傾斜角度変位量を測定する。			°	1° 以下	1° 以下	1° 以下	1° 以下	
						2.0° 以下	2.0° 以下	2.0° 以下	2.0° 以下	
		上記⑤の状態よりスタートする。 ⑥ブーム起伏角を約10° 上げる。 ⑦ブームを水平に起伏下げ操作で停止させる。 ⑧作業床の傾斜角度変位量を測定する。								
増圧器	ブースタ 68.6Mpa(700kgf/cm ²)用			Mpa	—	—	—	—		
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧 ※ゲージポート(アウトリガバルブまたはリヤアウトリガ前側等)			Mpa (kgf/cm ²)	17.2±0.5 (175±5)	17.2±0.5 (175±5)	17.2±0.5 (175±5)	17.2±0.5 (175±5)	
		ポンプ回転数 ※高速(負荷時)			min ⁻¹	900±25	900±25	900±25	900±25	
		ポンプ回転数 ※中速(負荷時)			min ⁻¹	—	—	—	—	
		ポンプ回転数 ※低速(負荷時)			min ⁻¹	610±20	610±20	610±20	610±20	
		油温			℃	40±5	40±5	40±5	40±5	
		作動油			—	—	—	—	—	

トラック式 (TT)

AT-110TTE-5	AT-121TT-2	AT-121TTE-3						
STD 仕様	STD 仕様	STD 仕様						
HK0214～	HJ1493～	HJ2295～						
検 査 基 準 値								
3以下	3以下	3以下						
2以下	2以下	2以下						
—	—	—						
2.5以下	2.5以下	2.5以下						
2以下	2以下	2以下						
2以下	2以下	2以下						
10以下	10以下	10以下						
8.3(0.85)	8.3(0.85)	8.3(0.85)						
8.3(0.85)	8.3(0.85)	8.3(0.85)						
1° 以下	1° 以下	1° 以下						
2.0° 以下	2.0° 以下	2.0° 以下						
—	—	—						
17.2±0.5 (175±5)	17.2±0.5 (175±5)	16.2±0.5 (165±5)						
900±25	900±25	900±25						
—	—	760±20						
610±20	630±20	610±20						
40±5	40±5	40±5						
—	—	—						

タダノ

適用範囲		モデル名			AT-80TT-3	AT-100TT-4 AT-100TTE-4	AT-110TT-4 AT-110TTE-4	AT-100TT-5 AT-100TTE-5		
		スペック番号			STD仕様	STD仕様	STD仕様	STD仕様		
		適用号機			HH5159～	217981～	218925～	HK0335～		
区分	検査箇所	適用項目 ※条件			単位	検査基準値				
油圧装置	油圧シリンダー ※作業床は無負荷、レバー操作は上げ・伸び操作後中立、エンジン停止後の自然降下量	自然降下量 ※1(添付資料)	起伏 ※ブーム水平、全縮状態	mm/10min	2以下	2以下	2以下	2以下		
			伸縮 ※起伏角度最大、ブーム約10cm伸長状態	mm/10min	3以下	3以下	3以下	3以下		
			アウトリガ・ジャッキ ※シリンダストロークエンド手前停止状態	mm/10min	1以下	1以下	1以下	1以下		
			平衡装置 ※ブーム水平、全縮状態・セレクトバルブは開	mm/10min	1以下	1以下	1以下	1以下		
			ジブ起伏	mm/10min	—	—	—	—		
安全装置	アースリール線	抵抗値			Ω	1以下	1以下	1以下	1以下	
	作業範囲規制装置	測定方法 ※4(添付資料)	規制装置	作業範囲規制	AMC3	○	○	○	○	
				モーメントリミッタ	AMC3	—	—	—	—	
	起伏角度規制装置	200 kg仕様	ブーム全伸における起伏停止角度		°	—	—	—	—	
			ブーム水平時における伸長停止長さ		mm	—	—	—	—	
	車輻・ブーム干渉防止装置	旋回、伏、伸縮、首振りが自動停止する事。 ※ブームレスト格納付近は停止しない			—	確認	確認	確認	確認	
その他規制装置				—	—	—	—	—		
総合テスト	※バケット・プラットホーム側で操作乗員1名	起伏 ※ブーム全縮		上	s	25±6	25±5	25±5	25±5	
		旋回 ※起伏角度最大 ブーム全縮		右	s	50±10	50±10	50±10	50±10	
				左						
		伸縮 ※起伏角度最大	伸	鉄製 ブーム	s	14±3	20±4	25±5	13±3	
				FRP製 ブーム	s	—	15±3	18±4	15±3	
		バケット首振速度 プラットホーム旋回		首振り アームスイング		s	円滑に作動	円滑に作動	円滑に作動	円滑に作動
		ウインチ巻上速度 ※15m 区間、無負荷								
低騒音エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度		負荷時	min ⁻¹	—	1200±30	1200±30	—	
				アイドリング		—	1000 ⁺¹⁰⁰ ₀	1000 ⁺¹⁰⁰ ₀	—	
		弁すき間(冷態時)	吸気弁	mm	—	0.145-0.185	0.145-0.185	—		
			排気弁		—			—		
		圧縮圧力(スタータモータを5～10秒間回し、最大値を読む)	基準値	Mpa	—	2.84～3.24	2.84～3.24	—		
			限度	Mpa	—	2.26	2.26	—		
		警告灯(充電水温、油圧)				—	—	パイロットランプ点灯	パイロットランプ点灯	—

注) 作動速度、作業範囲規制装置の測定方法は諸条件等によって異なります。
詳細は、サービスマニュアルを参照して下さい。

トラック式 (TT)

AT-110TTE-5	AT-121TT-2	AT-121TTE-3						
STD 仕様	STD 仕様	STD 仕様						
HK0214～	HJ1493～	HJ2295～						
検 査 基 準 値								
2以下	2以下	2以下						
3以下	3以下	3以下						
1以下	1以下	1以下						
1以下	1以下	1以下						
—	—	—						
1以下	1以下	1以下						
○	○	○						
—	—	—						
—	—	—						
—	—	—						
確認	確認	確認						
—	—	—						
25±5	30±6	30±6						
50±10	60±12	60±12						
—	28±6	—						
17±4	—	28±6						
円滑に作動	円滑に作動	円滑に作動						
—	—	—						
—	—	—						
—	—	—						
—	—	—						
—	—	—						
—	—	—						
—	—	—						
—	—	—						

タダノ

適用範囲		モデル名			AT-110TE-4	AT-146TE-2	AT-146TE-3	AT-146TE-3	
		スペック番号			-***53以降 (STD仕様)	L+PTO仕様 (STD仕様)	PTO仕様 又は L+PTO仕様 (STD仕様)	B+PTO仕様 (STD仕様)	
		適用号機			219267～	227952	227960～	227960～	
区分	検査箇所	適用項目 ※条件		単位	検査基準値				
作業装置	ブーム	スライディングパッド部のがた	上下方向	mm	3以下	3以下	2以下	2以下	
			左右方向	mm	2以下	2以下	2以下	2以下	
		スライディングパッド	摩耗量	mm	—	—	—	—	
		底板ラップ部のへこみ	セカンド	mm	2.5以下	2.5以下	2.5以下	2.5以下	
			サード、トップ	mm	2以下	—	—	—	
		局部へこみ (但し、へこみ長さは50mm以上)		mm	2以下	2以下	2以下	2以下	
	伸縮ワイヤたるみ	セカンド、トップ(サード)ブームの伸長差 (ブーム水平状態でセカンドブームを全縮より約10cm伸長する。)			mm	10以下	10以下	10以下	10以下
		調整用ナット 締付けトルク	縮側	サード トップ	N・m (kgf・m)	8.3(0.85)	9.8(1.0)	9.8(1.0)	9.8(1.0)
	伸側		サード トップ	8.3(0.85)		15.7(1.6)	15.7(1.6)	15.7(1.6)	
	平衡装置	①起伏上げ操作にてブームを水平にする。 ②作業床内の測定場所に水準器を置き、作業床傾斜角度を測定する。 ③ストロークエンドまで起伏の上げ下げを10回行う。 ④ブームを水平に起伏上げ操作で停止させる。 ⑤作業床の傾斜角度変位量を測定する。			°	1°以下	1°以下	1°以下	1°以下
		上記⑤の状態よりスタートする。 ⑥ブーム起伏角を約10°上げる。 ⑦ブームを水平に起伏下げ操作で停止させる。 ⑧作業床の傾斜角度変位量を測定する。				2.0°以下	2.0°以下	2.0°以下	2.0°以下
増圧器	ブースタ 68.6Mpa(700kgf/cm ²)用			Mpa	—	70±1.5	68.6 ^{+1.0} _{-0.0}	68.6 ^{+1.0} _{-0.0}	
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧 ※ゲージポート(アウトリガバルブ またはリヤアウトリガ前側等)		Mpa (kgf/cm ²)	17.2±0.5 (175±5)	17.2±0.5 (175±5)	17.2±0.5 (175±5)	17.2±0.5 (175±5)	
		ポンプ回転数 ※高速(負荷時)		min ⁻¹	900±25	950±35	1000±25	1000±25	
		ポンプ回転数 ※中速(負荷時)		min ⁻¹	—	720±20	750±20	750±20	
		ポンプ回転数 ※低速(負荷時)		min ⁻¹	610±20	515±20	525±20	525±20	
		油温		℃	40±5	40±5	40±5	40±5	
		作動油		—	—	—	ISO VG15	ISO VG15	

トラック式 (TE)

AT-147CE-3	AT-147CE-3							
L+PT0 仕様 (STD 仕様)	B+PT0 仕様 (STD 仕様)							
590246～	590246～							
検 査 基 準 値								
2以下	2以下							
2以下	2以下							
—	—							
2.5以下	2.5以下							
—	—							
2以下	2以下							
10以下	10以下							
9.8(1.0)	9.8(1.0)							
15.7(1.6)	15.7(1.6)							
1° 以下	1° 以下							
2.0° 以下	2.0° 以下							
68.6 $\begin{smallmatrix} +1.0 \\ -0.0 \end{smallmatrix}$	68.6 $\begin{smallmatrix} +1.0 \\ -0.0 \end{smallmatrix}$							
17.2±0.5 (175±5)	17.2±0.5 (175±5)							
1000±25	1000±25							
750±20	750±20							
525±20	525±20							
40±5	40±5							
ISO VG15	ISO VG15							

タダノ

適用範囲		モデル名			AT-110TE-4	AT-146TE-2	AT-146TE-3	AT-146TE-3		
		スペック番号			-***53以降 (STD仕様)	L+PTO仕様 (STD仕様)	PTO仕様 又は L+PTO仕様 (STD仕様)	B+PTO仕様 (STD仕様)		
		適用号機			219267～	227952	227960～	227960～		
区分	検査箇所	適用項目 ※条件			単位	検査基準値				
油圧装置	油圧シリンダー ※作業床は無負荷、レバー操作は上げ・伸び操作後中立、エンジン停止後の自然降下量	自然降下量 ※1(添付資料)	起伏 ※ブーム水平、全縮状態		mm/10min	2以下	2以下	2以下	2以下	
			伸縮 ※起伏角度最大、ブーム約10cm伸長状態		mm/10min	3以下	3以下	3以下	3以下	
			アウトリガ・ジャッキ ※シリンダストロークエンド手前停止状態		mm/10min	1以下	1以下	1以下	1以下	
			平衡装置 ※ブーム水平、全縮状態・セレクトバルブは開		mm/10min	1以下	1以下	1以下	1以下	
			ジブ起伏		mm/10min	—	—	2以下	2以下	
安全装置	アースリール線	抵抗値			Ω	—	1以下	1以下	1以下	
	作業範囲規制装置	測定方法 ※4(添付資料)	規制装置	作業範囲規制	AMC3	○	—	—	—	
				モーメントリミッタ	AMC3	—	○	○	○	
	起伏角度規制装置	200 kg仕様	ブーム全伸における起伏停止角度		°	—	—	—	—	
			ブーム水平時における伸長停止長さ		mm	—	—	—	—	
	車輻・ブーム干渉防止装置	旋回、伏、伸縮、首振りが自動停止する事。 ※ブームレスト格納付近は停止しない			—	確認	確認	確認	確認	
その他規制装置				—	—	—	—	—		
総合テスト	※バケット・プラットホーム側で操作乗員1名	起伏 ※ブーム全縮		上	s	25±6	30±6 (L&PTO)	30±6 (L&PTO)	35±7(B) 30±6(PTO)	
		旋回 ※起伏角度最大 ブーム全縮		右	s	50±12	50±10 (L&PTO)	50±10 (L&PTO)	50±10 (L&PTO)	
				左						
		伸縮 ※起伏角度最大	伸	鉄製 ブーム	s	—	—	—	—	
				FRP製 ブーム	s	18±4	33±7 (L&PTO)	33±7 (L&PTO)	36±7(B) 33±7(PTO)	
		バケット首振速度 プラットホーム旋回		首振り		s	円滑に作動	円滑に作動	6(PTO)	6(PTO)
				アームスイング			—	—	—	—
ウインチ巻上速度 ※15m区間、無負荷					S/15m	—	22±5 (L&PTO)	23±5 (PTO)	23±5 (PTO)	
低騒音エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度		負荷時	min ⁻¹	—	1200±30	1240±30	—	
				アイドリング		—	1000 ⁺¹⁰⁰ ₀	1000 ⁺¹⁰⁰ ₀	—	
		弁すき間(冷態時)		吸気弁	mm	—	0.145-0.185	0.25	—	
				排気弁		—			—	
		圧縮圧力(スタータモータを5～10秒間回し、最大値を読む)		基準値		Mpa	—	2.84～3.24	2.9以下	—
				限度		Mpa	—	2.26	2.6	—
	警告灯(充電水温、油圧)				—	—	パイロットランプ点灯	パイロットランプ点灯	—	

注) 作動速度、作業範囲規制装置の測定方法は諸条件等によって異なります。
詳細は、サービスマニュアルを参照して下さい。

トラック式 (TE)

AT-147CE-3	AT-147CE-3							
L+PTO 仕様 (STD 仕様)	B+PTO 仕様 (STD 仕様)							
590246～	590246～							
検 査 基 準 値								
2以下	2以下							
3以下	3以下							
1以下	1以下							
1以下	1以下							
2以下	2以下							
1以下	1以下							
—	—							
○	○							
—	—							
—	—							
確認	確認							
—	—							
30±6 (L&PTO)	35±7 (B) 30±6 (PTO)							
50±10 (L&PTO)	50±10 (B&PTO)							
—	—							
36±7 (L&PTO)	40±8 (B) 36±6 (PTO)							
11±2 (PTO)	11±2 (PTO)							
18±4 (PTO)	18±4 (PTO)							
26±5 (PTO)	26±5 (PTO)							
1240±30	—							
1000 ⁺¹⁰⁰ ₀	—							
0.25	—							
	—							
2.9以下	—							
2.6	—							
パイロット ランプ点灯	—							

タダノ

適用範囲		モデル名			AT-100SR-2	AT-120SR-2	AT-120SRM-2	AT-150S-2		
		スペック番号			-***02	-***03, 04 05, 06	-***64	-***03, 13 14		
		適用号機			HF0317～	HA5702～	HA5728～	HD5532～		
区分	検査箇所	適用項目 ※は条件を示す			単位	検査基準値				
作業装置	ブーム	スライディングパッド部のがた		上下方向	mm	2以下	2以下	2以下	2以下	
				左右方向	mm	2以下	2以下	2以下	2以下	
		スライディングパッド		摩耗量	mm	—	—	—	—	
		底板ラップ部のへこみ		セカンド	mm	2.5以下	2.5以下	2.5以下	2.5以下	
				サード、トップ	mm	2以下	2以下	2以下	2以下	
		局部へこみ (但し、へこみ長さは50mm 以上)			mm	2以下	2以下	2以下	2以下	
	伸縮ワイヤたるみ	セカンド、トップ(サード)ブームの伸長差 (ブーム水平状態でセカンドブームを全縮より約10cm 伸長する。)			mm	10以下	10以下	10以下	10以下	
		調整用ナット 締付けトルク		縮側	サード トップ	N・m (kgf・m)	15.7(1.6)	15.7(1.6)	15.7(1.6)	15.7(1.6)
				伸側	サード トップ		17.7(1.8)	17.7(1.8)	17.7(1.8)	17.7(1.8)
	平衡装置	①起伏上げ操作にてブームを水平にする。 ②作業床内の測定場所に水準器を置き、作業床傾斜角度を測定する。 ③ストロークエンドまで起伏の上げ下げを10回行う。 ④ブームを水平に起伏上げ操作で停止させる。 ⑤作業床の傾斜角度変位量を測定する。			°	2° 以下	2° 以下	2° 以下	2° 以下	
						上記⑤の状態よりスタートする。 ⑥ブーム起伏角を約10° 上げる。 ⑦ブームを水平に起伏下げ操作で停止させる。 ⑧作業床の傾斜角度変位量を測定する。	3° 以下	3° 以下	3° 以下	3° 以下
		増圧器	ブースタ 68.6Mpa(700kgf/cm ²) 用			Mpa (kgf/cm ²)	—	—	—	—
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧 ※ゲージポート(アウトリガバルブまたはリヤアウトリガ前側等)			Mpa (kgf/cm ²)	18.6±0.5 (190±5)	18.6±0.5 (190±5)	18.6±0.5 (190±5)	18.6±0.5 (190±5)	
		ポンプ回転数 ※高速(負荷時)			min ⁻¹	850±25	850±25	850±25	850±25	
		ポンプ回転数 ※中速(負荷時)			min ⁻¹	630±20	630±20	630±20	630±20	
		ポンプ回転数 ※低速(負荷時)			min ⁻¹	510±20	510±20	510±20	510±20	
		油温			℃	40±5	40±5	40±5	40±5	
		作動油			—	—	—	—	—	

トラック式 (SD)

AT-200S-2								
-***05, 06 07								
HF5342～								
検 査 基 準 値								
2以下								
2以下								
—								
2.5以下								
2以下								
2以下								
10以下								
15.9(1.62)								
7(0.71) 17.8(1.82)								
2° 以下								
3° 以下								
—								
19.1±0.5 (195±5)								
850±25								
630±20								
560±20								
40±5								
—								

タダノ

適用範囲		モデル名			AT-100SR-2	AT-120SR-2	AT-120SRM-2	AT-150S-2	
		スペック番号			-***02	-***03, 04 05, 06	-***64	-***03, 13 14	
		適用号機			HF0317～	HA5702～	HA5728～	HD5532～	
区分	検査箇所	適用項目 ※は条件を示す			単位	検査基準値			
油圧装置	油圧シリンダー ※作業床は無負荷、レバー操作は上げ・伸び操作後中立、エンジン停止後の自然降下量	自然降下量 ※1	起伏 ※ブーム水平、全縮状態		mm/10min	2以下	2以下	2以下	2以下
			伸縮 ※起伏角度最大、ブーム約10cm 伸長状態		mm/10min	3以下	3以下	3以下	3以下
			アウトリガ・ジャッキ ※シリンダストロークエンド手前停止状態		mm/10min	1以下	1以下	1以下	1以下
			平衡装置 ※ブーム水平、全縮状態・セレクトバルブは開		mm/10min	1以下	1以下	1以下	1以下
			ウインチ起伏		mm/10min	—	—	—	—
			屈伸 ※測定可能起伏角度でブーム全縮状態		mm/10min	—	—	—	—
安全装置	アースリール線		抵抗値		Ω	—	—	—	—
	作業範囲規制装置	測定方法 ※4	規制装置	作業範囲規制	AMC3	—	—	—	—
				モーメントリミッタ	AMC3	○	○	○	○
	起伏角度規制装置	200 kg仕様	ブーム全伸における起伏停止角度		°	—	—	—	—
			ブーム水平時における伸長停止長さ		mm	—	—	—	—
	車輻・ブーム干渉防止装置	旋回、伏、伸縮、首振りが自動停止する事。 ※ブームレスト格納付近は停止しない			—	確認	確認	確認	確認
その他規制装置				—	—	—	—	—	
総合テスト	作動速度 ※2 ※バケット・プラットフォーム側で操作乗員1名	起伏 ※ブーム全縮		上	s	43±9	43±9	43±9	46±9
		旋回 ※起伏角度最大 ブーム全縮		右	s	60±12	60±12	60±12	60±12
				左	s				
		伸縮 ※起伏角度最大	伸	鉄製 ブーム	s	26±5	35±7	35±7	42±8
				FRP製 ブーム	s	—	—	—	—
		バケット首振速度 プラットフォーム旋回		右	s	60±12	60±12	60±12	60±12
				左	s				
		折り曲げ		伸び	s	—	—	—	—
		ウインチ巻上速度 ※15m 区間、無負荷				S/15m	—	—	—
低騒音エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	負荷時	min ⁻¹	—	—	—	—	
			アイドリング		—	—	—	—	
		弁すき間(冷態時)	吸気弁	mm	—	—	—	—	
			排気弁		—	—	—	—	
		圧縮圧力(スタータモータを5～10秒間回し、最大値を読む)	基準値	Mpa	—	—	—	—	
			限度	Mpa	—	—	—	—	
		潤滑装置(エンジン油圧)				—	—	—	—

注) 作動速度、作業範囲規制装置の測定方法は諸条件等によって異なります。
詳細は、サービスマニュアルを参照して下さい。

トラック式 (SD)

AT-200S-2								
-***05, 06 07								
HF5342～								
検 査 基 準 値								
2以下								
3以下								
1以下								
1以下								
—								
—								
—								
—								
○								
—								
—								
確認								
—								
61±12								
75±15								
56±11								
—								
66±13								
—								
—								
—								
—								
—								
—								
—								
—								
—								
—								

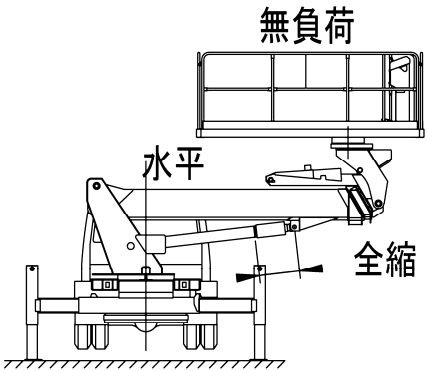
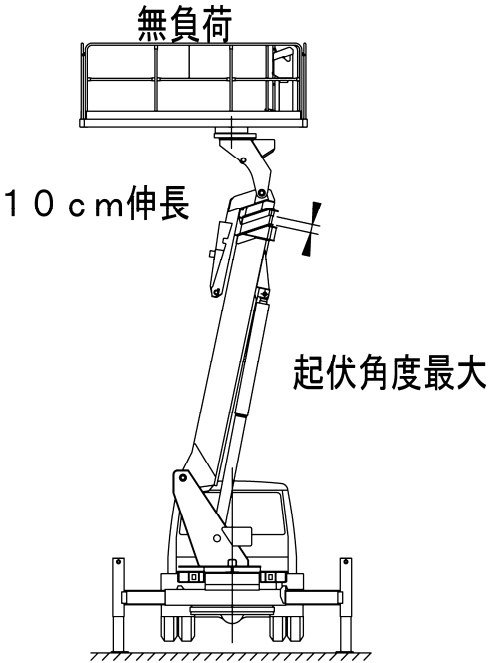
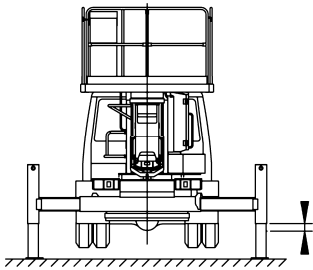
タダノ

適用範囲		モデル名			BT-110-1	BT-200-2			
		スペック番号			-***10, 11	-***01, 02			
		適用号機			HB5407～	HB5384～			
区分	検査箇所	適用項目 ※条件			単位	検査基準値			
作業装置	ブーム	スライディングパッド部がた	上ブーム	上下方向		0.5～1	0.5～1		
				左右方向		0.2～0.7	0.2～0.7		
			下ブーム	上下方向	mm	—	0.5～1		
				左右方向	mm	—	0.5～1		
			ポスト部	セカンド縦横共(片側)		0.2～0.5	0.2～0.5		
				サード縦横共(片側)		0.2～0.5	0.2～0.5		
				フォース縦横共(片側)		0.2～0.5	0.2～0.5		
				トップ縦横共(片側)		0.2～0.5	0.2～0.5		
		スライディングパッド		摩耗量	mm	—	—		
		底板ラップ部へこみ	セカンド(上ブーム)		mm	2.5以下	2.5以下		
			サード、トップ(下ブーム)		mm	—	2以下		
			ポスト部	セカンド	mm	2.5以下	2.5以下		
				サード	mm	2.5以下	2.5以下		
				フォース	mm	2.5以下	2.5以下		
				トップ	mm	2以下	2以下		
		局部へこみ (但し、へこみ長さは50mm 以上)			mm	2以下	2以下		
	伸縮ワイヤたるみ (下ブーム)	セカンド、トップ(サード)ブームの伸長差 (ブーム水平状態でセカンドブームを全縮より約10cm 伸長する。)			mm	10以下	10以下		
		調整用ナット 締付けトルク		縮側	N・m	—	6.4(0.65)		
				伸側	(kgf・m)	—	8.3(0.85)		
	平衡装置	①起伏上げ操作にてブームを水平にする。 ②作業床内の測定場所に水準器を置き、作業床傾斜角度を測定する。 ③ストロークエンドまで起伏の上げ下げを10回行う。(BTのみ2回) ④ブームを水平に起伏上げ操作で停止させる。 ⑤作業床の傾斜角度変位量を測定する。 上記⑤の状態よりスタートする。 ⑥ブーム起伏角を約10° 上げる。 ⑦ブームを水平に起伏下げ操作で停止させる。 ⑧作業床の傾斜角度変位量を測定する。			°	2° 以下	2° 以下		
						3° 以下	3° 以下		
	首振り装置 (BTのみ)	プラットホーム旋回角度			°	110±3	90±3		
		プラットホーム旋回の作動			コメント	異常・異音が無い事	異常・異音が無い事		
		プラットホームスライドの作動			コメント	異常・異音が無い事	異常・異音が無い事		

タダノ

適用範囲		モデル名			BT-110-1	BT-200-2		
		スペック番号			-***10, 11	-***01, 02		
		適用号機			HB5407～	HB5384～		
区分	検査箇所	適用項目 ※条件		単位	検査基準値			
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧 ※アウトリガ操作バルブ部		Mpa (kgf/cm²)	20.6±0.5 (210±5)	21.6～22.1 (220～225)		
		ポンプ回転数 ※高速(負荷時)		min ⁻¹	1150±25	1210±25		
		ポンプ回転数 ※中速(負荷時)		min ⁻¹	825±25	905±25		
		ポンプ回転数 ※低速(負荷時)		min ⁻¹	580±45	610±50		
		油温		℃	40±5	40±5		
		作動油		—	—	—		
	油圧シリンダー ※作業床は無負荷、レバー操作は上げ・伸び操作後中立、エンジン停止後の自然降下量	自然降下量 ※1(添付資料)	起伏 ※ブーム水平、全縮状態	mm/10min	2以下	2以下		
			伸縮 ※起伏角度最大、ブーム約10cm 伸長状態	mm/10min	3以下	3以下		
			バケット起伏 ※ブーム・バケット水平状態	mm/10min	—	—		
			昇降 ※ブーム水平、全縮状態	mm/10min	3以下	3以下		
			ジャッキ	mm/10min	—	—		
			アウトリガ・ジャッキ ※シリンダストロークエンド手前停止状態	mm/10min	1以下	1以下		
			平衡装置 ※ブーム水平、全縮状態・セレクトバルブは開	mm/10min	1以下	1以下		
			ウインチ起伏	mm/10min	—	—		
			屈伸 ※測定可能起伏角度でブーム全縮状態	mm/10min	—	—		
安全装置	アースリール線	抵抗値		Ω	—	—		
	作業範囲規制装置	測定方法 ※4(添付資料)	規制装置	作業範囲規制	AMC	○	○	
				モーメントリミッタ	AMC	—	—	
		ブーム・デッキ伸び停止点		mm	※注	※注		
		ブーム・デッキ旋回停止点		mm	※注	※注		
	その他規制装置	—		—	※注	※注		
アウトリガタイヤ	傷、磨耗の状態		—	点検	点検			
総合テスト	※バケット・プラットフォーム側で操作 乗員1名	起伏 ※ブーム全縮	上	s	35±7	35±7		
		旋回 ※起伏角度最大、ブーム全縮	右	s	65±13	40±8		
			左	s				
		伸縮 ※起伏角度最大	伸	s	25±5	25±5		
		下ブーム伸縮	伸	s	(17±4)	30±6		
		デッキ旋回	右	s	31±6	25±5		
			左					
		ポスト	伸	s	73±15	60±12		

注) 作業速度、作業範囲規制装置の測定方法は諸条件によって異なります。
詳細は、サービスマニュアルを参照して下さい。

※ 1. 油圧シリンダの自然降下量 1. 起状シリンダ 「測定要領」 1) 車体を水平堅土上に設置する。 2) ブーム全縮状態で、起操作にて水平にする。 3) エンジンを停止する。 4) シリンダ（ロッド）にマーキングする。 5) 起状操作バルブを操作し、残圧を抜き 1 分後に 0 点をセットする 6) 10 分経過後、降下量を測定する 「判定基準」 ロッドの縮小量は 2mm 以内／10 分 ※油温の高い時は行わないこと	
2. 伸縮シリンダ 「測定要領」 1) 車体を水平堅土上に設置する。 2) ブーム起状角度最大で、伸操作にて 10 cm 伸長する。 3) エンジンを停止する。 4) セカンドブームにマーキングする。 5) 伸縮操作バルブを操作し、残圧を抜き 1 分後に 0 点をセットする 6) 10 分経過後、降下量を測定する 「判定基準」 セカンドブームの縮小量は 3mm 以内／10 分 ※油温の高い時は行わないこと	
3. ジャッキシリンダ 「測定要領」 1) 車体を水平堅土上に設置する。 2) ブーム格納状態で、ジャッキ張り出し操作にてタイヤを浮かす。 3) エンジンを停止する。 4) ジャッキインナーにマーキングする。 5) アウトリガ操作バルブを操作し、残圧を抜き 1 分後に 0 点をセットする 6) 10 分経過後、降下量を測定する 「判定基準」 ジャッキインナーの縮小量は 1mm 以内／10 分 ※油温の高い時は行わないこと	

※ 2. 速度測定方法

「測定要領」

- 1) 車体を水平堅土上に設置する。
- 2) 作業車の作動範囲に障害物が無いことを確認する。
- 4) 各操作は旋回台で行う。
- 3) 油温は $40 \pm 5^{\circ}\text{C}$ で行う。

① 起状速度

- 1) ブーム全縮状態で、伏せ操作により「伏」エンドまで下げる。
- 2) 起操作により「起」エンド停止までの時間を測定する。

② 伸縮速度

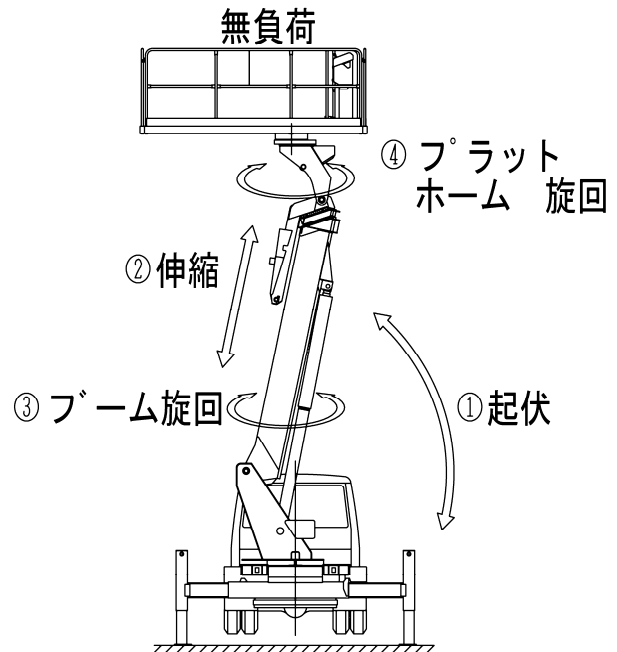
- 1) ブームを全縮状態で、起操作により「起」エンドまで上げる。
- 2) 伸操作により「伸」エンド停止までの時間を測定する。

③ ブーム旋回速度

- 1) ブームを全縮、起エンド状態で後方に向ける。
- 2) ブーム旋回操作により1回転するまでの時間を測定する。
- 3) ブーム右旋回、左旋回共に行う。

④ プラットホーム旋回速度

- 1) ブームを全縮、起エンド状態で後方に向ける。
- 2) デッキ旋回操作により1回転するまでの時間を測定する。
- 3) デッキ右旋回、左旋回共に行う。



※ 4. 作業半径測定方法

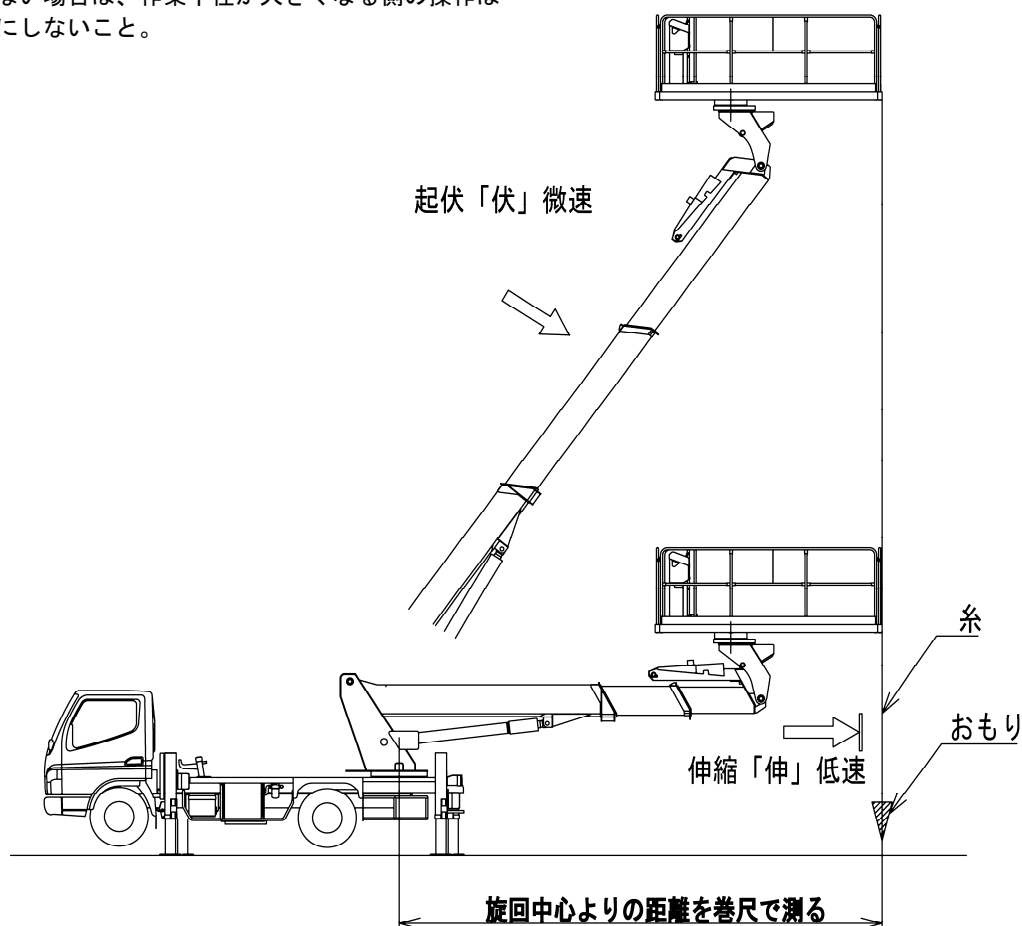
〔測定機器〕

1. 角度計
2. 巻尺
3. 重錘
4. 水系

「測定例」

※測定値や測定方法は、機種によって異なります
また、同じ機種でも張り幅やウエイトの重量によっても異なります
詳細はサービスマニュアルを参照してください。

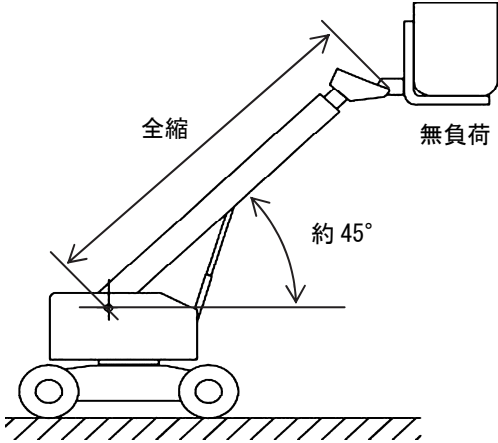
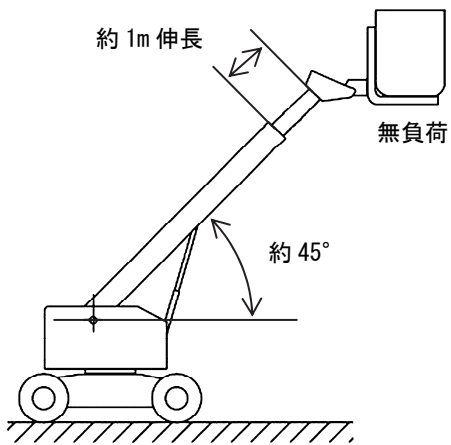
- 1) 高所作業車を水平堅土に水平に設置する。
(タイヤが浮いていることを確認する)
- 2) ブーム操作は、下部操作の低速側にて行うこと。
- 3) ブームを水平状態にし、伸長操作にて AMC100%停止させ、作業半径を測る。
やむを得ずブームを立てて行なう場合は、上部操作で微速「伏」操作にて行なうこと。
※バスケット（プラットフォーム）の積載荷重は機種、または仕様によっても異なっているので各機種のデータを参照すること。
- 5) 規定の作業半径に達してもブームの作動が 100%停止しない場合は、作業半径が大きくなる側の操作は絶対にしないこと。

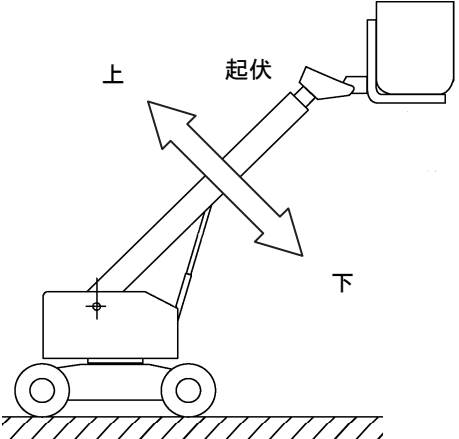
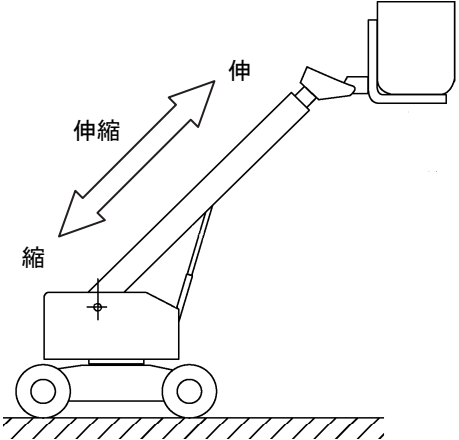
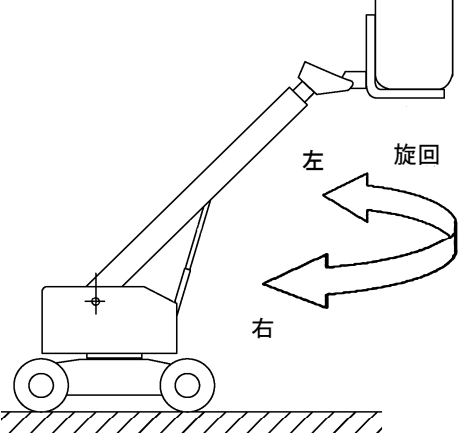
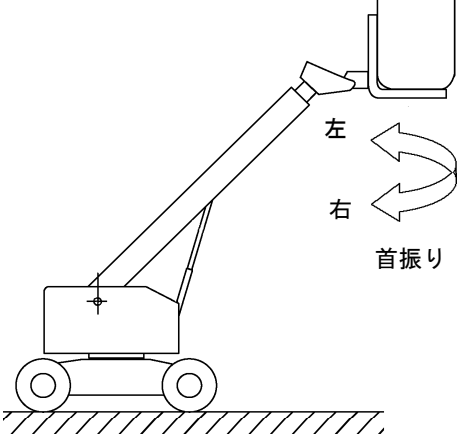


豊田自動織機

適用範囲		モデル名		4JD18	4JD21	4JD25	
		適用号機		31137～ (4LE2エンジン)	29116～ (4LE2エンジン)	28952～ (4LE2エンジン)	
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値		
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	ローアイドル	min ⁻¹	1400	1400	1240
			ハイアイドル	min ⁻¹	1750	1750	1750
		弁すき間	吸気弁	mm	0.4	0.4	0.4
			排気弁	mm	0.4	0.4	0.4
		圧縮圧力		Mpa (kgf/cm ²)	3.04 (31)	3.04 (31)	3.04 (31)
		※回転速度		min ⁻¹	250	250	250
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り		mm	10	10	10
		※ベルト押し付け力		N (kgf)	98 (10)	98 (10)	98 (10)
走行装置	ホイール	ソリッドタイヤ	摩耗量	—	ノーパンクタイヤ	ノーパンクタイヤ	ノーパンクタイヤ
	走行ブレーキ	制動距離		m	—	—	—
	駐車ブレーキ	ドラムとライニングのすき間		mm	—	—	—
		最低停止保持勾配		°	—	—	—
作業装置	ブーム	スライディングパッド部がた	上下方向	mm	0.5～0.9	0.5～0.9	0.5～0.9
			左右方向 上側	mm	1～2	1～2	1～2
			下側	mm	6～7	6～7	6～7
		スライディングパッド 摩耗量		mm	2以下	2以下	2以下
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧		Mpa (kg/cm ²)	20.6 ^{+0.5} ₀ (210 ⁺⁵ ₀)	20.6 ^{+0.5} ₀ (210 ⁺⁵ ₀)	20.6 ^{+0.5} ₀ (210 ⁺⁵ ₀)
		ポンプ回転数	低速	min ⁻¹	1400	1400	1240
			高速	min ⁻¹	1750	1750	1750
		※作動油		—	VG22	VG22	VG22
		油温		℃	40±10	40±10	40±10
	油圧シリンダー	自然降下量	起伏(リフト)	mm/10min	2	2	2
			伸縮	mm/10min	2	2	2
			平衡装置	mm/10min	2	2	2
安全装置	車体傾斜角 警報装置	作動角度	前後	°	3.5±0.5	3.5±0.5	3.5±0.5
			左右	°	3.5±0.5	3.5±0.5	3.5±0.5
	高速走行規制	ブーム姿勢条件		—	ブーム水平以上 ブーム全縮以外	ブーム水平以上 ブーム全縮以外	ブーム水平以上 ブーム全縮以外
	作業範囲 規制装置	測定方法	作業範囲規制	—	—	—	○
			モーメントリミッタ	—	—	—	—
総合テスト	作動速度 測定方法	起伏(リフト)	上	s	40±6	40±6	50±7
			下	s	40±6	40±6	50±7
		伸縮	伸	s	35±6	45±6	60±9
			縮	s	30±6	35±6	60±9
		旋回	右	s	80±12	80±12	95±12
			左	s	80±12	80±12	95±12
		バケット首振	右	s	30±5	30±5	25±5
			左	s	30±5	30±5	25±5
		走行	高	km/h	4±0.6	4±0.6	4±0.6
			低	km/h	1±0.2	1±0.2	1±0.2

豊田自動織機

1. 起伏自然降下測定 (1) ブームを起伏角約 45°、ブーム伸長は全縮にセットする。 (2) 車両エンジンを停止する。 (3) 起伏シリンダーロッドにマーキング又はダイヤルゲージをセットする。 (4) エンジン停止後 5 分経過した後に、マーキング又はダイヤルゲージの 0 点を合わせる。 (5) 10 分間経過させ、自然降下量を測定する。	
2. 伸縮自然降下測定 (1) ブームを起伏角約 45°、ブーム伸長を約 1m にセットする。 (2) 車両エンジンを停止する。 (3) 第 1 ブーム第 2 ブーム間にてマーキング又はダイヤルゲージをセットする。 (4) エンジン停止後 5 分経過した後に、マーキング又はダイヤルゲージの 0 点を合わせる。 (5) 10 分間経過させ、自然降下量を測定する。	

1. ブーム起伏速度 (1) 車両を水平堅土上にセットする。 (2) ブームを動かす方向の周囲に障害物がないか確認する。 (3) 伸縮「縮」で最縮状態にする。 (4) 起伏「下」スイッチを押しブームを一番下まで下げる。 (5) 起伏「上」スイッチを押しブームを一番上で止まるまでの時間を測定する。 (6) 起伏「下」スイッチを押しブームを一番下で止まるまでの時間を測定する。	 The diagram shows a boom crane on a horizontal ground surface. Two large arrows originate from the boom: one pointing upwards labeled '上' (Up) and one pointing downwards labeled '下' (Down). The word '起伏' (Vertical movement) is written above the upward arrow.
2. ブーム伸縮速度 (1) 車両を水平堅土上にセットする。 (2) ブームを動かす方向の周囲に障害物がないか確認する。 (3) ブームを起伏上げで止まるまで動かす。 (4) 伸縮「縮」スイッチを押しブームを一番最縮まで縮める。 (5) 伸縮「伸」スイッチを押しブームが最長状態で止まるまでの時間を測定する。 (6) 伸縮「縮」スイッチを押しブームが最縮状態で止まるまでの時間を測定する。	 The diagram shows a boom crane on a horizontal ground surface. Two large arrows originate from the boom: one pointing outwards labeled '伸' (Extend) and one pointing inwards labeled '縮' (Retract). The word '伸縮' (Extension/Retraction) is written above the outward arrow.
3. ブーム旋回速度 (1) 車両を水平堅土上にセットする。 (2) ブームを動かす方向の周囲に障害物がないか確認する。 (3) ブームを起伏上げで止まるまで動かす。 (4) 伸縮「縮」で最縮状態にする。 (5) 旋回する最初の位置を決旋回「右または左」スイッチを押しブームを1回転させ、1回転する時間を測定する。 (6) 旋回スイッチを先ほどと反対側に入れブームを1回転させ1回転する時間を測定する。	 The diagram shows a boom crane on a horizontal ground surface. Two large curved arrows indicate rotation: one pointing to the left labeled '左' (Left) and one pointing to the right labeled '右' (Right). The word '旋回' (Rotation) is written above the rightward arrow.
4. 首振り速度 (1) 車両を水平堅土上にセットする。 (2) 首振りを動かす方向の周囲に障害物がないか確認する。 (3) 首振り「右または左」スイッチを押し首振りをエンドまで動かす。 (4) 首振りスイッチを押し首振りが止まるまでの時間を測定する。 (5) 首振りスイッチを先ほどと反対側に入れ首振りが反対側エンドで止まるまでの時間を測定する。	 The diagram shows a boom crane on a horizontal ground surface. Two large curved arrows indicate swinging: one pointing to the left labeled '左' (Left) and one pointing to the right labeled '右' (Right). The word '首振り' (Swing) is written below the rightward arrow.

長野工業

適用範囲			モデル名		NUL090-5	NUL120-5	NUL090-6	NUL120-6
			適用号機		9NU53051～	12NU53051～	9NU63051～	12NU63051～
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値			
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	ローアイドル	min ⁻¹	1300±50	1300±50	1350±50	1350±50
			ハイアイドル	min ⁻¹	2500±50	2500±50	2550±50	2550±50
		弁すき間	吸気弁	mm	0.25	0.25	0.145～0.185	0.145～0.185
			排気弁	mm	0.25	0.25	0.145～0.185	0.145～0.185
		圧縮圧力		Mpa	2.9	2.9	3.23～3.62	3.23～3.62
				(kgf/cm ²)	(30)	(30)	33～37	33～37
	冷却方式	ファン駆動ベルトの張り ※ベルト押し付け力		min ⁻¹	290	290	250	250
				mm	10～12	10～12	10～12	10～12
				N	98	98	98	98
			(kgf)	(10)	(10)	(10)	(10)	
走行装置	履帯 クローラベルト	ゴムベルト張り(たわみ量)(※1)		mm	25～35	25～35	25～35	25～35
	走行ブレーキ	制動距離		m	—	—	—	—
	駐車ブレーキ	最低停止保持勾配		°	11.5	11.5	11.5	11.5
作業装置	ブーム	スライディングパッド 部がた	上下	mm 以下	1	1	1	1
			左右	mm 以下	1	1	1	1
		スライディングパッド 使用限界	ブーム	—	第3	第3	第3	第3
			上	mm 以下	9	11.5	9	11.5
			下	mm 以下	8	9	8	9
			左右	mm 以下	13	17.2	13	17.2
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧	リフト側	Mpa	20.6	20.6	20.6	20.6
				(kgf/cm ²)	(210)	(210)	(210)	(210)
		走行側		Mpa	20.6	20.6	20.6	20.6
				(kgf/cm ²)	(210)	(210)	(210)	(210)
		ポンプ回転数	低速	min ⁻¹	—	—	—	—
			高速	min ⁻¹	2500	2500	2500	2500
	作動油 油温			—	VG32	VG32	VG32	VG32
				℃	40±10	40±10	40±10	40±10
油圧シリンダー	自然伸縮量	各ブーム(※2)		mm/10min	2以下	2以下	2以下	2以下
	安全装置	車体傾斜角 警報装置	作動角度	前後	°	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5
左右				°	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5
作業範囲 規制装置		リミットスイッチ 作動高さ	高速走行規制高さ(※6)	m	第1 0.4 第2 1.5	リフト 0.7 第3 1.6	第1 0.4 第2 1.5	リフト 0.7 第3 1.6
			走行停止規制(※6)	m	第1 2.0 第2 3.5	リフト 3.3	第1 2.0 第2 3.5	リフト 3.3
	上昇規制検知		m	—	—	—	—	
過積載 規制装置	油圧スイッチ作動重量	上昇可	kg	—	—	—	—	
		上昇不可	kg	—	—	—	—	
総合テスト	作動速度	第1ブーム(リフト) (※4)	上	sec	12±6	18±6	12±6	18±6
			下	sec	12±6	18±6	12±6	18±6
		第2ブーム(第3ブーム) (※5)	上	sec	26±6	28±6	26±6	28±6
			下	sec	26±6	28±6	26±6	28±6
		伸縮ブーム	伸	sec	15±6	17±6	15±6	17±6
			縮	sec	15±6	23±6	15±6	23±6
		ジブブーム	上	sec	—	—	—	—
			下	sec	—	—	—	—
		バスケット旋回	右	sec	8±6	11±6	8±6	11±6
			左	sec	8±6	11±6	8±6	11±6
		旋回	右	sec/360°	75±6	80±6	75±6	80±6
			左	sec/360°	75±6	80±6	75±6	80±6
		走行	2速	km/h	—	—	—	—
			高	km/h	1.3±0.1	1.3±0.1	1.3±0.1	1.3±0.1
			低	km/h	0.7±0.1	0.7±0.1	0.7±0.1	0.7±0.1

長野工業

適用範囲		モデル名			NUL12W	NUL14W	NUL14WJ	
		適用号機			12NW13051～	14NW13051～	14NWJ13051～	
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値			
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	ローアイドル	min ⁻¹	1200	1200	1200	
			ハイアイドル	min ⁻¹	2550	2550	2550	
		弁すき間	吸気弁	mm	0.16	0.16	0.16	
			排気弁	mm	0.16	0.16	0.16	
		圧縮圧力		Mpa	3.23～3.36	3.23～3.36	3.23～3.36	
				(kgf/cm ²)	(33～37)	(33～37)	(33～37)	
		回転速度		min ⁻¹	250	250	250	
	冷却方式	ファン駆動ベルトの張り ※ベルト押し付け力		mm	10～12	10～12	10～12	
				N	98	98	98	
				(kgf)	(10)	(10)	(10)	
走行装置	履帯	ゴムベルト張り(たわみ量)(※1)		mm	—	—	—	
	ホイール	ソリッドタイヤ			ソリッドタイヤ	ソリッドタイヤ	ソリッドタイヤ	
	走行ブレーキ	制動距離		m	1.0以内	1.0以内	1.0以内	
	駐車ブレーキ	最低停止保持勾配		°	3	3	3	
作業装置	ブーム	スライディングパッド 部がた	上下	mm 以下	1	1	1	
			左右	mm 以下	1	1	1	
		スライディングパッド 使用限界	ブーム	—	第3	第3	第3	
			上	mm 以下	8	8	8	
			下	mm 以下	13	13	13	
			左右	mm 以下	8	8	8	
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧	リフト側	Mpa	20.6	20.6	20.6	
				(kgf/cm ²)	(210)	(210)	(210)	
			走行側	Mpa	20.6	20.6	20.6	
				(kgf/cm ²)	(210)	(210)	(210)	
		ポンプ回転数	低速	min ⁻¹	—	—	—	
			高速	min ⁻¹	2500	2500	2500	
	油圧シリンダー	自然伸縮量 各ブーム(※2)		—	VG32	VG32	VG32	
				°C	40±10	40±10	40±10	
安全装置	車体傾斜角 警報装置	作動角度	前後	°	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5	
			左右	°	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5	
	作業範囲 規制装置	リミットスイッチ 作動高さ	高速走行規制高さ(※6)	m	2.8以上	2.8以上	2.8以上	
			走行停止規制(※6)	m	—	—	—	
			上昇規制検知	m	—	—	—	
	過積載 規制装置	油圧スイッチ作動重量	上昇可	kg	—	—	—	
			上昇不可	kg	—	—	—	
総合テスト	作動速度	第1ブーム(リフト) (※4)	上	sec	30±6	30±6	30±6	
			下	sec	30±6	30±6	30±6	
		第2ブーム(第3ブーム) (※5)	上	sec	28±6	28±6	28±6	
			下	sec	28±6	28±6	28±6	
		伸縮ブーム	伸	sec	18±6	18±6	18±6	
			縮	sec	18±6	18±6	18±6	
		ジブブーム	上	sec	—	—	—	
			下	sec	—	—	—	
		バスケット旋回	右	sec	10±6	10±6	10±6	
			左	sec	18±6	18±6	18±6	
		旋回	右	sec/360°	60±6	60±6	60±6	
			左	sec/360°	60±6	60±6	60±6	
		走行	2速	km/h	5.0±0.5	5.0±0.5	5.0±0.5	
			高	km/h	3.0±0.3	3.0±0.3	3.0±0.3	
			低	km/h	0.5±0.1	0.5±0.1	0.5±0.1	

長野工業

適用範囲		モデル名			NUX06C			
		適用号機			6XC10051～			
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値			
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	ローアイドル	min ⁻¹	—			
			ハイアイドル	min ⁻¹	—			
		弁すき間	吸気弁	mm	—			
			排気弁	mm	—			
		圧縮圧力		Mpa	—			
				(kgf/cm ²)	—			
	冷却方式	ファン駆動ベルトの張り ※ベルト押し付け力		min ⁻¹	—			
				mm	—			
				N	—			
				(kgf)	—			
走行装置	履帯	ゴムベルト張り(たわみ量)(※1)		mm	15～20			
	ホイール	ソリッドタイヤ			—			
	走行ブレーキ	制動距離		m	—			
	駐車ブレーキ	最低停止保持勾配		°	11.5			
作業装置	ブーム	スライディングパッド 部がた	上下	mm 以下	—			
			左右	mm 以下	—			
		スライディングパッド 使用限界	ブーム	—	—			
			上	mm 以下	—			
			下	mm 以下	—			
			左右	mm 以下	—			
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧	リフト側	Mpa	15.0			
				(kgf/cm ²)	147			
			走行側	Mpa	15.0			
				(kgf/cm ²)	147			
		ポンプ回転数	低速	min ⁻¹	—			
			高速	min ⁻¹	—			
	油圧シリンダー	作動油		—	VG32			
		油温		°C	40±10			
安全装置	車体傾斜角 警報装置	作動角度	前後	°	3.0±0.5			
			左右	°	3.0±0.5			
	作業範囲 規制装置	リミットスイッチ 作動高さ	高速走行規制高さ(※6)	m	—			
			走行停止規制(※6)	m	1.5以上			
			上昇規制検知	m	—			
	過積載 規制装置	油圧スイッチ作動重量	上昇可	kg	300			
			上昇不可	kg	330			
総合テスト	作動速度	第1ブーム(リフト) (※4)	上	sec	45±6			
			下	sec	35±6			
		第2ブーム(第3ブーム) (※5)	上	sec	—			
			下	sec	—			
		伸縮ブーム	伸	sec	—			
			縮	sec	—			
		ジブブーム	上	sec	—			
			下	sec	—			
		バスケット旋回	右	sec	—			
			左	sec	—			
		旋回	右	sec/360°	—			
			左	sec/360°	—			
		走行	2速	km/h	—			
			高	km/h	1.5±0.15			
			低	km/h	0.8±0.1			

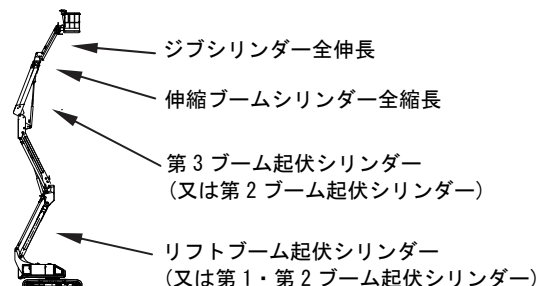
※ 1、クローラ張り調整

- 1、クローラを地面から浮かせて下さい。
- 2、クローラの中央部に最も近いトラックローラ下面とクローラの転動面との間隔（たわみ量）を測定します。
- 3、たわみ量が規定値となる様にアジャストシリンダーのグリス量を調整します。



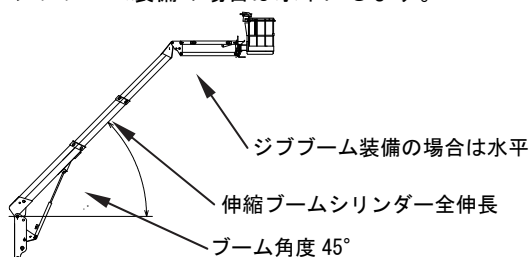
※ 2、ブームシリンダー自然降下量測定

- 1、伸縮ブームシリンダーを全縮長にします。
- 2、各ブームシリンダーを最伸長にします。
- 3、そのままの姿勢で 10 分間放置しシリンダーの縮み量を測定します。



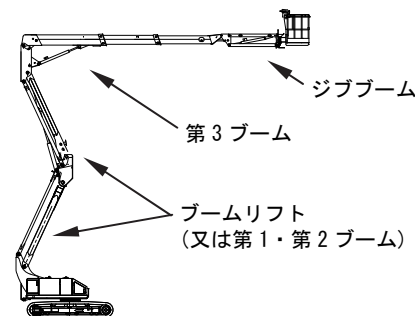
※ 3、伸縮シリンダー自然降下量測定

- 1、伸縮ブームを全伸長にします。
- 2、ブーム起伏角度を 45° にします。
- 3、そのままの姿勢で 10 分間放置し伸縮ブームの縮み量を測定します。
- 4、ジブブーム装備の場合は水平にします。



※ 4、5 ブーム作動速度

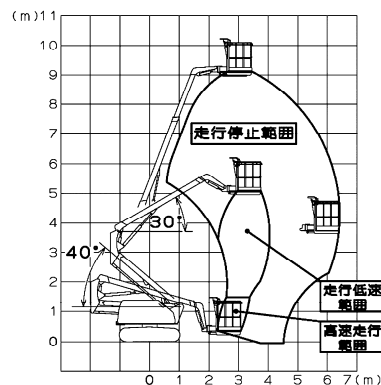
- ※NUL120-2 の場合ブームの名称が異なります。
 第1ブーム→ブームリフト（第1、第2ブームの同調起伏）
 第2ブーム→第3ブーム



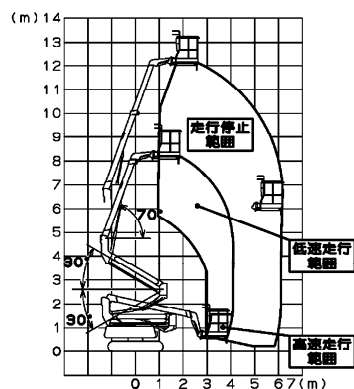
※ 6、走行規制高さ

- 1、バスケットが地上から規定の高さ以上上昇した場合に走行が停止又は減速します。
- 2、走行が停止又は減速した際スケールにてバスケットの作業床から地面までの高さを測定します。
- 3、ブームの規制角度、長さはサービスマニュアルを参照して下さい。

NUL090-5, 6 走行規制高さ



NUL120-5, 6 走行規制高さ



北越工業

適用範囲		モデル名				ENCL061-1	ENCL061-1	ENCL068-1	ENCL068-1	
		適用号機				STD	スライド式 作業床	STD	スライド式 作業床	
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法			単位	検査基準値				
電動機	モーター	ブラシ高さ 許容限界寸法	許容 限界	ドライブ	mm	—	—	—	—	
	駆動用チェーン	駆動用 チェーンのたわみ			右	mm	6～12	6～12	6～12	6～12
					左	mm	9～15	9～15	9～15	9～15
	バッテリー	電圧				V	24	24	24	24
	ヒューズ	走行主回路用				A	5 (兼用)	5 (兼用)	5 (兼用)	5 (兼用)
		油圧主回路用				A				
ブレーカ	主回路用ブレーカ				A	—	—	—	—	
走行装置	履帯 クローラベルト	ゴムベルト張り(たわみ量)				mm	15±3	15±3	15±3	15±3
						(kgf/cm ²)	—	—	—	—
	駐車ブレーキ	最低停止可能勾配				°	19	19	19	19
油圧装置	油圧ポンプ	メイン(昇降)	吐出圧		MPa	18.0±0.5	18.8±0.5	20.2±0.5	20.8±0.5	
					(kgf/cm ²)	(184)	(192)	(206)	(212)	
			作動油		—	VG22	VG22	VG22	VG22	
			油温		℃	35	35	35	35	
	油圧シリンダー	自然降下量 リフトシリンダー (作業床高さ；2m)				mm/10min	11以下	11以下	11以下	11以下
安全装置	車体傾斜角 警報装置	作動角度				°	3±0.5	3±0.5	3±0.5	3±0.5
	過積載 防止装置	作動質量				N	2450	2450	2450	2450
						(kgf)	(250)	(250)	(250)	(250)
	作業床 規制装置	格納検知				mm	0	0	0	0
		走行規制検知				mm	2,000	2,000	2,000	2,000
		上限規制検知				mm	6,100	6,100	6,800	6,800
総合テスト	作動速度	昇降 (1人乗車)		上昇	s	28±3	28±3	32±3	32±3	
				下降	s	30±3	30±3	34±3	34±3	
		走行 (1人乗車)		高速	km/h	2.0±0.4	2.0±0.4	2.0±0.4	2.0±0.4	
				低速	km/h	0.8±0.2	0.8±0.2	0.8±0.2	0.8±0.2	
		直進性				mm/10m	1,000	1,000	1,000	1,000

北越工業

適用範囲		モデル名		ENTL061-2	ENTL080-2	ENTL099-2		
		適用号機		STD	STD	STD		
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値			
電動機	駆動ベルト	駆動用チェーンのたわみ		mm	10±3	10±3	10±3	
	バッテリー	電圧		V	24	24	24	
	ヒューズ	走行主回路用		A	5	5	5	
		油圧回路用		A	5	5	5	
		主回路用		A	5	5	5	
走行装置	ホイール	ソリッドタイヤ	摩耗量		状態により判断	状態により判断	状態により判断	
	走行ブレーキ	制動距離		m	—	—	—	
	駐車ブレーキ	最低停止可能勾配		°	14	12	13	
作業装置	ブーム	スライディングパッド部がた	上下	mm	—	—	—	
			左右	mm	—	—	—	
		スライディングパッド	摩耗量	mm	—	—	—	
油圧装置	油圧ポンプ	昇降	吐出圧	MPa	18.6±0.5	20.5±0.5	18.6±0.5	
				(kgf/cm ²)	(190)	(209)	(190)	
			※作動油	—	VG22	VG22	VG22	
				油温	℃	35	35	35
		操舵	吐出圧	MPa	18.6±0.5	20.5±0.5	18.6±0.5	
				(kgf/cm ²)	(190)	(209)	(190)	
			※作動油	—	VG22	VG22	VG22	
				油温	℃	35	35	35
		メイン	吐出圧	MPa	18.6±0.5	20.5±0.5	18.6±0.5	
				(kgf/cm ²)	(190)	(209)	(190)	
			※作動油	—	VG22	VG22	VG22	
				油温	℃	35	35	35
油圧シリンダー	自然降下量 リフトシリンダー (作業床高さ；2m)		mm/10min	10以下	10以下	10以下		
安全装置	車体傾斜角安全装置	作動角度		°	2±0.5	2±0.5	2±0.5	
		過積載防止装置	作動質量		N	2450	2450	3136
				(kgf)	(250)	(250)	(320)	
総合テスト	作動速度	昇降 (1人乗車)	上昇	s	27±3	30±3	45±3	
			下降	s	26±3	35±3	55±3	
		走行 (1人乗車)	高速	km/h	4.0±0.4	3.2±0.4	3.5±0.4	
			低速	km/h	0.8±0.2	0.8±0.2	0.8±0.2	

前田製作所

適用範囲		モデル名		HF090-6	HF120-6		
		適用号機		9HF63061～	12HF63054～		
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値		
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	ローアイドル	min ⁻¹	1350±50	1350±50	
			ハイアイドル	min ⁻¹	2550±50	2550±50	
		弁すき間	吸気弁	mm	0.145～0.185	0.145～0.185	
			排気弁	mm	0.145～0.185	0.145～0.185	
		圧縮圧力		Mpa	3.23～3.62	3.23～3.62	
				(kgf/cm ²)	33～37	33～37	
		回転速度		min ⁻¹	250	250	
	冷却方式	ファン駆動ベルトの張り ※ベルト押し付け力		mm	10～12	10～12	
				N	98	98	
				(kgf)	(10)	(10)	
走行装置	履帯	ゴムベルト張り(たわみ量)(※1)		mm	25～35	25～35	
	ホイール	ソリッドタイヤ			—	—	
	走行ブレーキ	制動距離		m	—	—	
	駐車ブレーキ	最低停止保持勾配		°	11.5	11.5	
作業装置	ブーム	スライディングパッド 部がた	上下	mm 以下	1	1	
			左右	mm 以下	1	1	
		スライディングパッド 使用限界	ブーム	—	第3	第3	
			上	mm 以下	9	11.5	
			下	mm 以下	8	9	
			左右	mm 以下	13	17.2	
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧	リフト側	Mpa	20.6	20.6	
				(kgf/cm ²)	(210)	(210)	
			走行側	Mpa	20.6	20.6	
				(kgf/cm ²)	(210)	(210)	
		ポンプ回転数	低速	min ⁻¹	—	—	
			高速	min ⁻¹	2500	2500	
	油圧シリンダー	作動油		—	VG32	VG32	
		油温		°C	40±10	40±10	
安全装置	車体傾斜角 警報装置	作動角度	前後	°	3.0±0.5	3.0±0.5	
			左右	°	3.0±0.5	3.0±0.5	
	作業範囲 規制装置	リミットスイッチ	高速走行規制高さ(※6)	m	第1 0.4 第2 1.5	リフト 0.7 第3 1.6	
		作動高さ	走行停止規制(※6)	m	第1 2.0 第2 3.5	リフト 3.3	
			上昇規制検知	m	—	—	
	過積載 規制装置	油圧スイッチ作動重量	上昇可	kg	—	—	
			上昇不可	kg	—	—	
総合テスト	作動速度	第1ブーム(リフト) (※4)	上	sec	12±6	18±6	
			下	sec	12±6	18±6	
		第2ブーム(第3ブーム) (※5)	上	sec	26±6	28±6	
			下	sec	26±6	28±6	
		伸縮ブーム	伸	sec	15±6	17±6	
			縮	sec	15±6	23±6	
		ジブブーム	上	sec	—	—	
			下	sec	—	—	
		バスケット旋回	右	sec	8±6	11±6	
			左	sec	8±6	11±6	
		旋回	右	sec/360°	75±6	80±6	
			左	sec/360°	75±6	80±6	
		走行	2速	km/h	—	—	
			高	km/h	1.3±0.1	1.3±0.1	
			低	km/h	0.7±0.1	0.7±0.1	

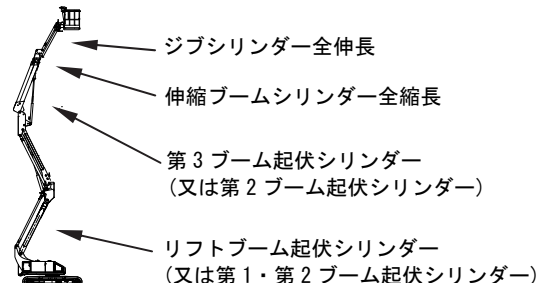
※ 1、クローラ張り調整

- 1、クローラを地面から浮かせて下さい。
- 2、クローラの中央部に最も近いトラックローラ下面とクローラの転動面との間隔（たわみ量）を測定します。
- 3、たわみ量が規定値となる様にアジャストシリンダーのグリス量を調整します。



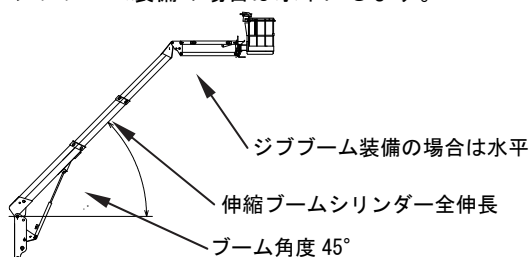
※ 2、ブームシリンダー自然降下量測定

- 1、伸縮ブームシリンダーを全縮長にします。
- 2、各ブームシリンダーを最伸長にします。
- 3、そのままの姿勢で 10 分間放置しシリンダーの縮み量を測定します。



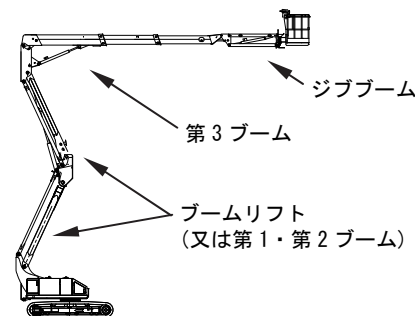
※ 3、伸縮シリンダー自然降下量測定

- 1、伸縮ブームを全伸長にします。
- 2、ブーム起伏角度を 45° にします。
- 3、そのままの姿勢で 10 分間放置し伸縮ブームの縮み量を測定します。
- 4、ジブブーム装備の場合は水平にします。



※ 4、5 ブーム作動速度

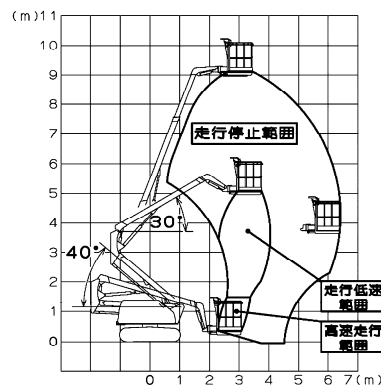
- ※HF120-2 の場合ブームの名称が異なります。
 第 1 ブーム→ブームリフト（第 1、第 2 ブームの同調起伏）
 第 2 ブーム→第 3 ブーム



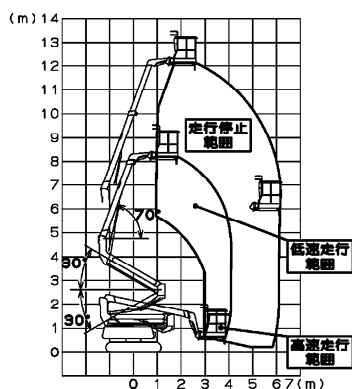
※ 6、走行規制高さ

- 1、バスケットが地上から規定の高さ以上上昇した場合に走行が停止又は減速します。
- 2、走行が停止又は減速した際スケールにてバスケットの作業床から地面までの高さを測定します。
- 3、ブームの規制角度、長さはサービスマニュアルを参照して下さい。

HF090-6 走行規制高さ



HF120-6 走行規制高さ



高所作業車検査・整備基準値表

平成 12 年 5 月	初版発行
平成 17 年 11 月	改訂 A 版発行
平成 26 年 6 月	改訂 B 版第 3 刷発行
平成 27 年 3 月	改訂 C 版発行

発行 公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 3 丁目 7 番 1 号
(ニュー九段ビル 9 階)

電 話 03-3221-3661

FAX 03-3221-3665

URL <http://www.sacl.or.jp>